

Plug & Play 対応 ISA バス用 LAN アダプター CentreCOM LA-ISA V2 ユーザーズマニュアル



ユーザーマニュアル

©1997 アライドテレシス株式会社

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りくださ い。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故 障などの原因になります。

稲妻危険

•

•

•

稲妻が発生しているとき、本製品や ケーブルの設置などの作業を行わない でください。落雷により、感電する恐 れがあります。

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用 しています。部品が静電破壊する恐れ がありますので、コネクターの接点部 分などに素手で触れないでください。

取り付け及び取り外し時の注意 コンピュータの拡張スロットに本製品 を取り付ける作業は、必ずコンピュー タの電源を切り、電源プラグを電源コ ンセントから抜いて行ってください。 また、コンピュータのマニュアルを参 照の上正しく行ってください。

設置、ケーブル配線、移動は電 源を抜いて

本製品の設置、ケーブル配線、移動な どを行う場合は、必ずコンピュータの 電源プラグを電源コンセントから抜い て行ってください。

取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショッ クを与えたりしないでください。

次のような場所での使用や保管 はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
 - ・暖房器具の近くなどの高温になる場
 所
 - ・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
 - ・湿気の多い場所や、水などの液体が かかる場所
 - ・振動の激しい場所
 - ・ほこりの多い場所や、ジュータンを 敷いた場所
 - (静電気障害の原因にもなります)
 - ・腐食性ガスの発生する場所
 - ・スピーカ付近などの強磁界



動作温度と湿度

本製品は指定された動作周囲温度およ び湿度の範囲内でご使用下さい。動作 可能な周囲温度範囲は本マニュアル付 録に記載されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環 境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテ レビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



CentreCOM LA-ISA-T/LA-ISA-25T V2をお買い上げいただきまして誠にありがと うございます。本製品は ISA 規格に適合したバスを持つコンピュータを、Ethernet Baseband LAN システムに接続するための LAN アダプターです。

このマニュアルは、本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときに いつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管していただきますようお願 いいたします。

アライドテレシス株式会社

▶ 内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は以下のとおりです。お買い上げの商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

(本体)

LA-ISA-T V2 または LA-ISA-25T V2(永久保証対象)

(付属品)

お客様インフォメーション登録カード ユーザーズマニュアル 永久保証書 ドライバーディスク(1枚) シリアルナンバーラベル(3枚)

(その他添付紙がある場合もあります)

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアラ イドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部 または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変 更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任 も負いかねますのでご了承ください。

©1997 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。 Windows、Windows NT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標で す。 PC/TCP は米国 FTP Software, Inc. の登録商標です。 Ethernet は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。 NetWare は米国 Novell, Inc. の商標です。 Sun は米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。 IBM、OS/2 は IBM Corporation の商標です。 その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの 商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1997年11月25日 Ver. 1.0 pl. 0 1st release

このマニュアルの構成

このマニュアルの構成は、以下のようになっています。ご使用のOSやパソコンに応じて、下図のように読み進んでください。「Plug & Play」は、パソコンとOSの両方がPlug & Playに対応している場合の道筋です。「Legacy」は、パソコンまたはOSがPlug & Playに対応していない場合の道筋です。



vi

目次

1	概	要	1
	1	CentreCOM LA-ISA V2 シリーズの概要 1.1 製品バリエーション 1.2 本製品の特長 1.3 各部の名称と働き 1.4 付属ドライバーやユーティリティ	.2 2 2 3 6
2	設	置・記線	.7
	1 2	本製品の組み込み 1.1 パソコンへの組み込み 1.2 パソコンからの取り外し ネットワークに接続する	8 .8 .9 10 10 11 12
		2.3 10BASE5 1	13
3	ア	ダプターの設定 1	15
	1	「Plug & Play」と「Legacy」1 Plug & Play モード	16 16 16
	2	アダプターの設定・CFGISA.EXE	17 18 18 19 20 20
	3	MS-DOS・Windows 3.1 における Plug & Play	21 21 22
4	W	indows952	23
	1	準備	24
	2	Windows95 のバージョン確認	24

	3	ドライバーのインストール	26
	4	インストールの確認とアダプターの設定	31
		4.1 デバイスマネージャ	31
		インストールの確認	31
		リソースの確認	33
		4.2 ネットワーク(コントロールパネル)	34
		ネットワーク環境の設定	34
		ドライバの設定	34
		ネットワークメディアの設定	35
	5	ドライバーの削除と再インストール	36
		5.1 ドライバーの削除	36
		5.2 再インストール	37
	6	トラブルシューティング	38
		6.1 デバイスマネージャでのエラー	38
		6.2 使用許可の切り替え(Version Bのみ)	39
		6.3 リソース値重複の回避	40
		6.4 本製品を Legacy モードで使う	41
		空きリソースの確認	41
		本製品の設定	43
		ドライバーのインストール	43
		リソース確認	45
		リソース確認	45
5	Wi	リソース確認indows NT Version 4.0	45 47
5	Wi 1	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備	45 47 48
5	Wi 1 2	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備	45 47 48 50
5	Wi 1 2	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認	45 47 48 50 50
5	Wi 1 2	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定	45 47 48 50 50 51
5	Wi 1 2	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール	45 47 48 50 50 51 52
5	Wi 1 2	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール	45 47 48 50 50 51 52 61
5	Wi 1 2 3	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 	45 47 48 50 51 52 61
5	Wi 1 2 3	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき 	45 47 48 50 51 52 61 61 61
5	Wi 1 2 3	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき 	45 47 48 50 51 52 61 61 61
5	Wi 1 2 3	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 	45 47 48 50 50 51 52 61 61 61 61 63
5	Wi 1 2 3 4	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 4.1 ドライバーの削除 	45 47 48 50 51 52 61 61 61 63 63
5	Wi 1 2 3 4	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 4.1 ドライバーの削除 4.2 再インストール 	45 47 48 50 51 52 61 61 61 63 63 64
5	Wi 1 2 3 4	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 4.1 ドライバーの削除 4.2 再インストール Source 3.5 x	45 47 48 50 51 52 61 61 61 63 63 64 65
5	Wi 1 2 3 4 Wi	リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 4.1 ドライバーの削除 4.2 再インストール indows NT Version 3.5x	45 47 48 50 50 51 52 61 61 61 63 63 64 65
5	Wi 1 2 3 4 Wi 1	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 4.1 ドライバーの削除 4.2 再インストール indows NT Version 3.5x 準備 	45 47 48 50 51 52 61 61 61 63 63 64 65 66
5	Wi 1 2 3 4 Wi 1 2	 リソース確認 indows NT Version 4.0 準備 ドライバーのインストール 2.1 リソースの確認 2.2 アダプターの設定 2.3 NDIS ドライバーのインストール インストール後 3.1 リソース値の確認 3.2 本製品を使用しないとき ドライバーの削除と再インストール 4.1 ドライバーの削除 4.2 再インストール indows NT Version 3.5x 準備 ドライバーのインストール 	45 47 48 50 51 52 61 61 61 63 63 64 65 66 68

viii

		 2.1 リソースの確認	
	3	インストール後	
	4	ドライバーの削除と再インストール	
7	Ne	etWare Server	
	1	NetWare 4.1xJ サーバー	
	Ζ	Netware 3.125 リーハー	
8	8 NetWare DOS Client		
	1	NetWare 4.1xJ/3.12J クライアント	
	2	インストール結果	
	3	エラーメッセージ	
	4	NetWare クライアントと PC/TCP の共存環境	
9	LA	N Manager DOS Client 97	
	1	LAN Manager DOS クライアント	
	2	インストール結果 99 2.1 PROTOCOL.INI 99 2.2 CONFIG.SYS 100 2.3 AUTOEXEC BAT 100	
	3	エラーメッセージ	

4	LAN	Manager と PC/TCP の共存環境	101
	4.1	CONFIG.SYS	102
	4.2	AUTOEXEC.BAT	102
	4.3	PROTOCOL INI	102

10 パケットドライバー 103

1	パケ	ットドライバー	104
		準備	104
	1.1	CentreNET PC/TCP	104
	1.2	その他の TCP 通信ソフトウェアをご利用の場合	104
2	パケ	ットドライバーの設定変更	105
3	エラ	ーメッセージ	106

1	<u>N</u> -	トリェア診断ノロクラム108
	1.1	ハードウェア診断の手順108
	1.2	正常に試験が終了した例
	1.3	正常に試験が終了しなかった例 109
	1.4	ETHDIAG のエラーメッセージと対策 110
		Adapter is not found 110
		Interrupt Check: Tx error interrupt 110
		Buffer RAM Check: NG 111
		Loopback Check #: Tx timeout 111
		Loopback Check #: Return Packet Timeout 111
		Loopback Check #: Rx Framing error 111
		Loopback Check #: Rx CRC error 111
		Loopback Check #: Tx Colision error 111
		Loopback Check #: Tx Carrier loss error 111
2	一般	的なトラブル
		MS-DOS で本製品が動作しない(EMM386.EXE)
		CFGISA で本製品が検出できない112
付	録	
1	ドラ	イバーインストーラ (SETUP.EXE) 116

А

	5	RJ-45 モジュラージャック(10BASE-T)117
	6	AUI コネクター (10BASE5) 118
	7	製品仕様 119
В	保	証・ユーザーサポート 121
	1	保証
	2	ユーザーサポート
	3	調査依頼書のご記入にあたって
	4	最新ドライバーソフトウェアの入手方法

調查依頼書		126
-------	--	-----





第1部では、本製品の特長、使用環境、各部の名称と働きについて 説明します。

1 CentreCOM LA-ISA V2 シリーズの概要

CentreCOM LA-ISA V2シリーズ(以下、本製品と略します)は、ISA バスを持つ AT 互換機をイーサネットベースバンドLANシステム(10Mbps)に接続するための製品 です。本製品は「Plug & Play」機能に対応しているため、Plug & Playに対応した パソコンとオペレーティングシステム(OS)をご使用の場合は、簡単にセットアップ することができます⁺¹。

1.1 製品バリエーション

本製品には、下記の2つのバリエーションがあります。

LA-ISA-T V2

RJ-45 モジュラージャックを持ち、10BASE-T に接続することができます。

LA-ISA-25T

RJ-45 モジュラージャック、BNC コネクター、AUI コネクターの3 つを持ち、 10BASE-T、10BASE2、10BASE5 に接続することができます。

1.2 本製品の特長

- (1) I/O アクセス方式を採用
- (2) Plug & Play 機能によるオートコンフィグレーション:I/O アドレス、インタラプトレベルの自動設定
- (3) セットアッププログラムにより、次の2つのモードが設定可能:
 ISA バス Plug & Play 仕様(Plug & Play モード)
 従来の ISA バス仕様(従来互換機モード、Legacy モード)
- (4) セットアッププログラムにより全二重通信が可能(Full-Duplex)

1.3 各部の名称と働き

図 1.3.1、図 1.3.2 をもとに LA-ISA-T、LA-ISA-25T の主要な部分の名称と働きを説 明します。

- RJ-45 モジュラージャック
 UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクターです。
- (2) MAC アドレス
 本製品のMACアドレスが記載されています。付録Aに物理アドレスに関する
 情報があります。
- (3) ブート ROM ソケット
 ブート ROM を取り付けるためのソケットです。現時点では、ブート ROM 機
 能はサポートしておりません。
- (4) ISA **バスコネクター** 本製品とパソコンをインターフェースするためのコネクターです。
- (5) LINK ランプ(緑)
 本製品とネットワークをケーブルで接続し、通信が正常に行なわれている場合
 に点灯します。
- (6) シリアル番号 / 製品リビジョン
 製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、 3枚程同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください(残る1枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。
- (8) AUI コネクター
 本製品をトランシーバー(10BASE5)に接続するためのコネクターです。この
 コネクターは、LA-ISA-25Tのみが持っています。

蔑援



図 1.3.1 LA-ISA-T V2 外観図

概要



図 1.3.2 LA-ISA-25T V2 外観図



I

1.4 付属ドライバーやユーティリティ

本製品のドライバーディスクには、以下のドライバーが含まれています。このマニュ アルの内容よりもさらに詳しい情報が必要な場合は、ドライバーディスクに含まれる 「README.*」ファイル^{†1}をご覧ください。また、README.*には、このマニュアル に記載されていない最新の情報が書かれています。

- ・Windows95 用 NDIS ドライバー
- ・Windows NT 用 NDIS ドライバー(Windows NT 3.5 以上に対応)
- ・NetWare サーバー用ドライバー(NetWare 3.12J、4.1J、4.11J 用の3点)
- ・NetWare DOSクライアント用ドライバー(NetWare 3.12J、4.1J、4.11J、 NetWare Lite 用の4点)
- ・LAN Manager DOS クライアント用ドライバー(DOS NDIS ドライバー)
- ・パケットドライバー
- また、以下のユーティリティプログラムが含まれています。
 - ・ハードウェア診断プログラム「ETHDIAG.EXE」
 - ・Plug & Playに対応していないパソコンで本製品を使うためのユーティリ ティ「LAISAACT.EXE」
 - ・DOS ドライバー・インストール・ユーティリティ「SETUP.EXE」

蔑雳

^{+ 1 ¥}README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やド ライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれの ドライバーに関連する README ファイルが存在します。



設置・配線

第2部では、本製品をパソコンに取り付け、イーサネットに接続す るまでの手順を紹介します。

1 本製品の組み込み

以下に示す手順を参考に本製品をパソコンの拡張スロットに取り付けてください。拡 張アダプターの取り付け方は、パソコン機種によって異なります。取り付け方の詳細 は、ご使用になるパソコンのマニュアルをご覧ください。

1.1 パソコンへの組み込み

- (1) 本体の電源をオフにしてください。
- (2) 安全のために電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



パソコンの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずパソコンの電 源を切って行ってください。電源を投入したままこの作業を行うとパソ コンや本製品の故障の原因となります。

- (3) パソコンの天板を外してください。
- (4) スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外してください。
- (5) 本製品を拡張スロットにしっかり奥まで差し込んでください。



本製品は静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐 れがありますので、拡張スロット接続コネクターの接点、部品などに素 手で触れないでください。

- (6) (5)で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り 付けてください。
- (7) パソコンの天板を取り付けてください。

1.2 パソコンからの取り外し

- (1) 本製品の組み込み手順の(1)~(3)と同様に、パソコン本体の天版を外します。
- (2) 本製品を固定しているねじを外します。
- (3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜く時は左右に振らずに真っすぐ引き抜いてください。



本製品は静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐 れがありますので、拡張スロット接続コネクターの接点、部品などに素 手で触れないでください。

- (4) スロットカバーを元どおりに取り付けてください。
- (5) パソコンの天板を取り付けてください。

2 ネットワークに接続する



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わな いでください。落雷により、感電する恐れがあります。

2.1 10BASE-T

ここでは例として、本製品をハブと接続する場合について説明します。

- (1) UTP ケーブル^{†1}の一方の端に付いたプラグを、本製品の RJ-45 モジュラー ジャックにカチッと音がするまで差し込んでください。両端のプラグのどちら を差し込んでもかまいません。
- (2) UTP ケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) UTP ケーブルのもう一方の端に付いたプラグをハブのモジュラージャック (PORT と表記されている場合もあります)に差し込んでください。手順は、上 記(1)(2)と同様です。

UTP ケーブルの外し方

プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。



🗷 2.1.1

+ 1 UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、カテゴリー3以上のもので、ストレート タイプをご使用ください。

設置・配線

2

ハブとアダプターがリンクしていることの確認

ハブとパソコンの両方に電源を投入し、ハブと本製品の両方のLINKランプが点灯す ることで確認できます。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しな い場合は、本製品とハブは正しくリンクしていません。その場合は、UTPケーブル の断線、適切なケーブルを使用していないなどの原因が考えられます。

2

2.2 10BASE2

LA-ISA-25Tを10BASE2^{†1} ネットワークに接続するには、下記の手順を実行して ください。また、そのためには別途「T字コネクター」と「10BASE2 ケーブル (シ ンワイヤ同軸ケーブル)」が必要です。

- T字コネクターを本製品のBNCコネクターに差し込み、ギザギザの部分を持っ て押しながら右に回してください。T字コネクターはロックされ、抜けなくな ります。
- (2) 手順(1)で取り付けたT字コネクターの両端に、10BASE2 ケーブルのBNCコ ネクター を接続します。LA-ISA-25T が 10BASE2 ネットワークの一番端の マシンに取り付けられる場合、T字コネクターの一方の端は『10BASE2 用の ターミネーター (終端抵抗器)』を取り付けてください。

10BASE2 ケーブル、T 字コネクター、ターミネーターの外し方 コネクターのギザギザの部分を持って、押しながら左に回してロックを外し、 引っ張ってください。コネクター(10BASE2 ケーブル、T 字コネクター、ター ミネーター)が外れます。



2.2.1^{† 2}

設置·配線

2.3 10BASE5

LA-ISA-25Tを弊社トランシーバー『CentreCOM 100 SERIES』に接続する例を説 明します。下記の手順を実行してください。

- AUI ケーブル (トランシーバーケーブル)のスライドロックの無い方のコネク ターを本製品の AUI コネクターに差し込んでください。
- (2) LA-ISA-25T の AUI コネクターのスライドロックをスライドさせ、ケーブルを ロックしてください。
- (3) AUI ケーブルのもう一方のコネクターをトランシーバーの AUI コネクターに 差し込んでください。
- (4) ケーブルのスライドロックをスライドさせ、ケーブルをロックしてください。

トランシーバーの SQE TEST(HB:ハートビート)スイッチは、『0』または『1』 のどちらでもかまいません。



2.3.1

†1 10BASE2は、シンイーサネットや、チーパーネットと呼ばれることがあります。

 ¹ この図におけるハブは、ターミネーターを内蔵しているタイプを想定しています。ターミネーターを内蔵していないハブをご使用の場合は、別途T字コネクターとターミネーターを用意し、図 2.2.1 の下側のパソコンのように接続しなければなりません。



アダプターの設定

本製品は、「Plug & Play」と「Legacy」の2つのモードを持ってい ます。第3部では、これらのモードを使う状況や、各モードの設定 のしかた、MS-DOS や Windows 3.1 を Plug & Play で使用するた めの準備について説明します。



1 Plug & Play J & Legacy J

本製品は、「Plug & Play」と「Legacy」の2つのモードを持っています。ご使用に なるパソコンやオペレーティングシステム(OS)に応じて、以下のようにモードを選 択してください。

モードの切り替えは、アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を使用します。 「CFGISA」の使用方法は、「2 アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

Plug & Play E-F

パソコンが Plug & Play に対応しており、かつ Plug & Play に対応した OS のもと で本製品を使用するためのモードです。以下に挙げたOSをご使用になる場合は、本 製品をこのモードに設定してください。このモードでは、I/Oアドレス、インタラプ トの設定は、パソコンと OS によって自動設定され管理されます。

Windows95 ^{† 1}

MS-DOS・Windows Version 3.1 における各種クライアント^{† 2}

本製品は、工場出荷時に「Plug & Play」モードに設定されております。 Windows95で本製品をご使用になる場合、購入時のままご使用いただけます (「CFGISA」による設定は不要です^{†1})。

Legacy モード(従来互換機モード)

Plug & Play に対応していないパソコン、OSのもとで本製品を使用するためのモードです。以下に挙げた OS をご使用になる場合は、「CFGISA」を使用して本製品をLegacyモードに設定してください。このモードを選択した場合、お客様自身によって I/O アドレス、インタラプトの設定を行います。

WindowsNT Version 3.5、3.51、4.0 MS-DOS・Windows Version 3.1 における各種クライアント⁺² NetWare サーバー

 ¹ パソコン機種によっては(例えば、旧式なパソコンをご使用の場合など)、本アダプターが「Plug & Play」モードで動作しないことがあります。その場合は、「CFGISA」をご使用になり「Legacy」
 モードに設定してください。第4部「6.5本製品を Legacy モードで使う」もご覧ください。

 ^{+ 2} MS-DOS や Windows 3.1 が Plug & Play で動作するように準備されている場合、本製品を「Plug & Play」モードで動作させることができます(そうでない場合は、「Legacy」モードで動作させなければなりません)。第3部「3 MS-DOS・Windows 3.1 における Plug & Play」をご覧ください。

2 アダプターの設定・CFGISA.EXE

アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」は、以下の機能をもつプログラムで、 「MS-DOS」または Windows95 の「DOS **プロンプトのみ**」のモードで実行すること ができます⁺¹。

Plug & Play モード、Legacy モードの切り替え Legacy モードにおける I/O アドレス、インタラプトの設定 全2重と半2重の切り替え

- (1) 本製品をパソコンに取り付けた状態で、Windows95またはMS-DOSを起動し てください。MS-DOSの場合は、(4)に進んでください。
- (2) 画面に「Starting windows95…」または「Windows95 を起動しています…」 というメッセージが表示されたら、キーボードの「F8」キーを押してください。
- (3) 「Microsoft Windows 95 Startup Menu」から「Command prompt only」ま たは「コマンドプロンプトのみ」を選択してください。
- (4) 本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、アダプター設定 プログラムを起動します。ここでは、フロッピードライブをA:と仮定します。

C:¥>A: A:¥>CFGISA

(5) 以下のような「項目選択」画面が表示されます。本製品のハードウェア設定を 変更する場合は、「Lan Adepterの設定変更」を選択します(選択は、カーソル キー「」「」で行います)。作業を中止する場合は、「ESC」キーを押して ください。メッセージ表示後、プログラムが終了します。

項目を選んで下さい

Lan Adapter の設定変更 ドライバソフトの設定変更⁺² Lan Adapter の自己診断⁺³

- † 1 **重要** CFGISA.EXE は、Windows95 や WindowsNT の中から起動された「MS-DOS プロンプト」 上では実行できません。また、MS-DOS において DOS 用ドライバーが常駐しているとき も、CFGISA.EXE は実行できません。
- + 2 MS-DOS 用のクライアントドライバーの設定を変更するメニューです。
- +3 試験結果だけが表示されます。詳細な情報を得る場合は、「ETHDIAG.EXE」を使用してください。

 (6) 現在のI/Oアドレスを選択してください。設定値を忘れてしまった^{†1}場合は、 「Auto Scan Start」を選択してください(Auto Scan Start が現れるまで下に カーソルを移動させてください)。
 この画面は、現在の設定が「Legacy」のと きに表示されます。「Plug & Play」(工場出荷時設定)では表示されません。

現在の I/O Base Address を選択して下さい。



Plug & Play、Legacy の選択

(7) 第3部「1アダプターの設定のための準備」にしたがって、「Plug & Play」または「Legacy」を選択してください。工場出荷時設定では、「Plug & Play」となっています。ここで「Plug & Play」を選択すると、手順(10)に進みます。



I/O アドレス、インタラプトの設定

- (8) 数値の先頭の「*」、「!」マークに注意し、他の拡張アダプターの設定と重複しないように、新たなI/Oアドレスを選択してください。また、この設定値は、ドライバーをインストールするときに使用しますので、記録しておいてください。
 - * 本製品の現在の設定値です(工場出荷時設定値は 0x300 0x31F)。
 - !現時点において既に、他の拡張アダプターで使用されているアドレスで す。本製品のための新たな I/O アドレスとして使用できません^{†2}。
- † 1 本製品を Legacy モードで動作させているとき、この画面の「Auto Scan Start」を選択することに よって、<u>現在の設定値を確認する</u>ことができます。手順(8)で現在の設定値を確認したら、「ESC」 キーを押して終了してください。現在の設定は変更されません。
- † 2 数値が既に他で使用されていることを CFGISA が検出できなかった場合、「!」マークが付きません。必ずしも、パソコン自身や他の拡張アダプターで使用されていないアドレスではありません。 「!」が付いていなくても使用されている可能性がありますので、パソコンのマニュアルでご確認 ください。

―― 現在の Lan Adapter の設定値 ―― I/O Base address = 0x300 IRQ = A

新たな I/O Base Address を選択して下さい。



 (9) インタラプトレベルを選択します。先頭の「*」は、本製品の現在の設定値で す(Legacyモードにおける工場出荷時設定値はIRQA)。他の拡張アダプターの設定と重複しないように設定してください⁺¹。

> ――― 現在の Lan Adapter の設定値 ――― I/O Base address = 0x300 IRQ = A

インタラプトレベルを選択して下さい。

* IRQ A IRQ B IRQ C IRQ F

ネットワークメディアの選択

(10) LA-ISA-25T V2 の場合、接続形態を選択します(LA-ISA-T V2 では表示されません)。デフォルトは「Auto(10Base2/10BaseT)」です。

接続形態を選択して下さい。

Auto(10Base2/10BaseT) 10Base5

† 1 数値が既に他で使用されていることを CFGISA が検出できなかった場合、「!」マークが付きません。必ずしも、パソコン自身や他の拡張アダプターで使用されていない IRQ ではありません。「!」 が付いていなくても使用されている可能性がありますので、パソコンのマニュアルでご確認ください。

回線方式の選択

(11) 回線方式を選択します。通常のハブに接続するのであれば、「Half Duplex」⁺¹
 (工場出荷時設定)を選択してください。回線方式の変更は、LAISAのみで実行
 可能です⁺²。また、LA-ISA-25T V2 で、10BASE2 または 10BASE5 をご使用になる場合、回線方式は無視されます。



(12) 設定が完了すると、変更前の設定値と変更後の値を画面上に表示します。

ハードウエアリセット

(13) パソコンのリセットスイッチを押すか、電源を一旦オフにし、再度オンにして ください。本製品がリセットされ、(1)~(12)で施した設定が有効となります⁺³。

- 1 2 Windows95、Windows NT にインストールした後で回線方式を変更する場合は、パソコンを再起 動し、CFGISA を実行してください。
- + 3 CTRL+ALT+DELによるリセットでは、本製品が完全にリセットされず、(1)~(12)で施した設定が 有効にならないことがあります。

アダプターの設定・CFGISA

^{† 1} 一般的に、「Full Duplex」は「スイッチ」と呼ばれる製品でサポートされています。本製品の回線 方式は、接続する装置に合わせなければなりません。回線方式が適切でない場合、コリジョンが 多発するなどの障害が発生します。

3 MS-DOS • Windows 3.1 **C***b***b** Plug & Play

Plug & Play **対応パソコン**のもとで MS-DOS、Windows 3.1 をご使用の場合、次の 点をご確認ください。

3.1 dwcfgmg.sys の組み込み

Plug & Play 機能を実現するためには、お使いのパソコンに付属している Configuration Manager(CM)が必要です。このソフトウェアは、「Plug & Play 対応のパソ コン」と「Plug & Play 対応の拡張アダプター」とで構成されたシステムを動作させ る重要な役割をもっています。

ここでは、Configuration Managerのファイル名を「dwcfgmg.sys」^{†1}と仮定します。組み込み手順の詳細は、ご使用のパソコンのマニュアルをご覧ください。

- 「dwcfgmg.sys」をconfig.sysに組み込んでください(このデバイスドライバの 記述行が config.sys の1行目にないと正常に動作しないパソコンも存在しま す。記述行の位置にご注意ください)。
- (2) パソコンをリセットしてください。
- (3) パソコン起動時に、次のようなメッセージが表示されます⁺²。

Found Plug and Play ISA card: ALLIED TELESIS, K.K. LA-ISA V2 The Plug and Play ISA card has been successfully configured.

- † 1 Configuration Manager:このファイル名は、DELL 製の OptiPlex XMT 5133 という機種における 例です。しかしながら、たいていのパソコンにおいて「dwcfgmg.sys」というファイル名が使用さ れています(COMPAQ 製品の場合は、「cqpcm.sys」となっています)。
- +2 このメッセージは、DELL 製の OptiPlex XMT 5133 という機種における例です。

3.2 EMS メモリマネージャのバージョン (emm386.exe)

Plug & Play BIOS の一部の機能が、EMS メモリマネージャ(emm386.exe など)に 依存しています。そのため、MS-DOS、Windows 3.1 の環境によって Plug & Play BIOSが動作しなくなり、本製品も動作しないという障害が起こることがあります(こ れは、Plug & Play 対応のアダプター全般に関係する問題です)。

ご使用のパソコンに動作上の不具合が生じた場合、emm386.exe の最新バージョン (Ver. 4.49以上)を使用すると正常に動作することがあります。詳細は、第11部「2 一般的なトラブル・MS-DOS で本製品が動作しない」をご覧ください。



Windows95

第4部では、本製品のドライバーを Windows95 にインストールす る手順を説明します。



••••••

各項目の説明は「LA-ISA-25T V2」をもとにしています。「LA-ISA-T V2」をご使用の場合は、文字列を「LA-ISA-T V2」に 読み替えてください。また、「LA-ISA-25T V2」または「LA-ISA-T V2」のどちらか一方にしか適用できない事柄は明記さ れています。
1 準備

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

- 1. LA-ISA-T V2 または LA-ISA-25T V2 アダプター
- 2. パソコン(Windows95 がインストール済みのものをご用意ください)
- 3. Windows95の供給ディスク(CD-ROM またはフロッピーディスク)
- 4. LA-ISA V2 ドライバーディスク(本製品に付属)



重要:ご使用のパソコンのOSが**プリインストール版**であり、バックアッ プCD-ROMが付属していない場合は、<u>必ずフロッピーディスクにバック</u> アップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。



ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異 なることがあります。

2 Windows95 のバージョン確認

初めに、ご使用のWindows95のバージョンをコントロールパネルで確認してください。 られ、名バージョンによって、インストール時に表示されるメッセージが異なります。

- 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「システム」をクリックしてください。
- システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「情報」タブをクリックして ください。

「システム:」の番号) [×] 「4.00.950」で	であれば Versio	n950 です。
------------	----------------------------	-------------	----------

<u>϶ϫϯ</u> ϫϣͻ	? ×
	ℓ / ハフォーマンス システム : Microsoft Windows 95 4.00.950 使用者 : ささ
	あらいどでれしす 12345-0EM-0006789-012345 コンピュータ: Pentium()
	64.0MB の RAM
	ОК + +уъл



VersionA

「システム:」の番号が「4.00.950a」であれば VersionA です。

シ ステ ムのプ ロハ ゙ ティ		? ×
「皆轍」 デハイスマネーシャ ハートウェア環境	バフォーマンス	
	システム : Microsoft Windows 95 4.00.950a	
🛛 1.2		

VersionB

「システム:」の番号が「 4.00.950 B」であれば VersionB です。



3 ドライバーのインストール

- Windows95を終了させ、パソコンの電源をオフにしてください。さらに、安全のためにパソコンの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 2. パソコンの拡張スロットに本製品を取り付けてください。

取り付けの手順については、第2部「設置・配線」やご使用のパソコンのマニュ アルをご覧ください。

- パソコンの電源プラグを電源コンセントに差し、パソコンの電源をオンにして、 Windows95 を起動してください。
- 4. Windows95 は本製品を自動的に検出しますが、Windows95 のバージョンに よって表示されるダイアログが異なります。

Version950 または VersionA の場合

Windows95 は、「新しいハードウェア」ダイアログに「Allied Telesis. K.K.-CentreCOM LA-ISA V2」の名前を表示します。「ハードウェアの製造元が提供 するドライバ(M)」を選択し、「OK」をクリックしてください⁺¹。

新しいハートウェア ? ×
ALLIED TELESIS,K.K. LA-ISA V2
新しいハートウェア用にインストールするトライハを選択してください。
C Windows 標準のドライバ(W)
⊙ ハートウェアの製造元が提供するトライハでM
○ 一覧から選ぶ(S)
○ ドライハをクレストールしない(D)
OK よう キャンセル ヘルフ ^ベ 出)

🕱 3.1

VersionB の場合

Windows95は、「デバイスドライバウイザード」を起動します。 <u>LA-ISA V2ド</u> <u>ライバーディスクをフロッピードライブに挿入し</u>、「次へ」をクリックしてくだ さい。

+ 1 「一覧から選ぶ」を選択しないでください。LA-ISA V2 は、Windows95の供給メディア(CD-ROM やフロッピーディスク)に含まれている LA-ISA 用のドライバーでは動作しません。



🕱 3.2

 Version950またはVersionAの場合は、「フロッピーディスクからインストール」 が表示されます。フロッピーディスクドライブにドライバーディスクを入れ 「A:¥windows.95」(または「A:¥」)と入力して、「OK」をクリックします。(こ こでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)

フロッピー ディスクからインストール	×
	OK
デバイスの製造元が配布するインストール ディスク を指定したドライブに入れて、[OK] を押 してください。	キャンセル 参照(<u>B</u>)

🛛 3.3

VersionBの場合は、4.の時点でドライバーディスクをフロッピードライブに入れて置くことによって、適切なドライバーが自動検索されます。次のダイアログが表示されたら「完了」をクリックしてください^{†1}。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。
B	ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet
	このドライハを使用する場合は、「完了」を押してください。 別の ドライハを検索したい場合は、「場所の指定」 を押してください。
🍣 📚	ドライハの場所
	場所の地合い
	◎物们10分指足。型…
	< 戻る(B) <u>、 完了</u> キャンセル

🛛 3.4

+1 自動検索を行わず「場所の指定」ボタンを使ってディレクトリを直接選択することもできます。 この場合は、ディレクトリ名として「A:¥windows.95」を選択してください。 ご使用のパソコンに初めてネットワークアダプターをインストールする場合は 下のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリックしてくだ さい。このダイアログが表示されない場合は、8. に進んでください。

*7トワーク	×
このコンビュータをネットワーク上で識別するために、コンビュータ名とワークグルーフ、名	が必要です。
[OK]	

 続いて下のダイアログが表示されます^{†1}。ネットワーク管理者に確認の上、パ ソコン名、ワークグループ名^{†2}およびパソコンの説明(省略可)を入力してくだ さい。

ネットワー ク
ネットワークの設定 ユーザー情報 アクセス権の管理
コンピュータ名: spankfire
ワークク゚ループ: ™
コンビ*ュータの)説明:

🕱 3.6

ドライバーおよび必要なWindows95のファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中でWindows95の供給ディスクが要求される場合は、ご使用のWindows95の形態に応じて以下のようにパスを入力してください。

プリインストール版 Windows95 の場合

この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされてい ます。ダイアログではディスクを入れるように要求されますが、<u>そのまま</u> 「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「C:¥windows¥options¥cabs」 を指定してください。ここではWindows95の起動ディスクパーティ ションを C:と仮定します。

- † 1 このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は「ネットワーク」(コントロールパネ ル)を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください。
- + 2 パソコン名およびワークグループ名の入力には 15 字以下の半角文字を使用します。詳細は Windows95 のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

機種によっては¥windows¥options¥cabsと異なる場所に保存されてい ることもあります。その場合はパソコンのマニュアルをご覧になるか、 検索コマンドにより拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを 探し、そのディレクトリパスを指定してください。

CD-ROM の場合

CD-ROM をドライブに挿入し、「E:¥WIN95」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブを E:と仮定します。

フロッピーディスクの場合

現在挿入されているドライバーディスクを取り出し、指示された番号の ディスクをフロッピーディスクドライブに入れて、「ファイルのコピー元 (C):」で「A:¥」を入力してください。(ここではフロッピーディスクド ライブをA:と仮定します。)

ディスク	の挿入
⊗	'Windows 95 Disk 2' ラベルの付いたディスクを挿 入して [OK] を押してください。
	ОК

図 3.7 フロッピーディスクの要求画面

ファイルのコピー
ユピー元:
Windows 95 Disk 3
ユレー・元: 読み取っています
1%
[

図 3.8 ファイルのコピー(フロッピーディスクの場合)



図 3.9 ファイルの所在の指定(プリインストール版)

 (重要)「LAISAV2.SYS が見つからないので Windows95の CD-ROM やフロッ ピーディスクを入れてください」というようなダイアログが表示される場合は、 ドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、ディレクトリとして「A: ¥windows.95」(または「A:¥」)を入力してください。「LAISAV2.SYS」はドラ イバーディスクに収められているファイルです。ここでは、フロッピーディス クドライブを A:と仮定します。

ファイルのコピー	×
Windows 95 Disk 2 上のファイル laisav2.SYS が見つかりませんでした。	ОК
Windows 95 Disk 2 を選択したドライバニ 入れて、[OK] を押してください。	キ ャンセル
	<u> えキッフ* (S</u>)
ファイルのユピー元(2):	詳細(0)
A:¥windows.95	

図 3.10 laisa.dos の要求(例)

10. 「システム設定の変更」が表示されます。「今すぐ再起動しますか?」という問いに 対して、「はい(Y)」をクリックし、フロッピーディスクを取り出して、パソコン を再起動します。

システム設	定の変更
?	新しい設定を有効にする!こは、コンビュータを再起動する必要があります。 再起動しますか?

図 3.11 システム設定の変更

11. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4 インストールの 確認とアダプターの設定」にお進みください。

4 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、始めにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認 し、さらに必要な設定を行います。

4.1 デバイスマネージャ

インストールの確認

「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」 タブをクリックしてください⁺¹。インストールが正常に行われていれば「ネットワー クアダプタ」の下に「ATKK LA-ISA-T_V2 PNP ISA Ethernet」または「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet」が表示されます。

<mark>システムのフロハティ</mark> 「情報」 デバイス マネージャ ハートウェア環境 ハフォーマンス	? ×
 ● 種類別に表示① ● 接続別に表示② 	
 → コナビュータ ● ② CD-ROM ● ③ A+ホトトド ● 独 サウンド、ビデオ、およびが 〜ムのコントローラ ● ジススラムデバイス ● ジススランパイス ● ディスフレイ アタウ 次 ● ジススブムイ アメウ アタウ 次 ● ジススブムイ アメウ アタウ 次 ● ジススブム アメウ コントローラ ● ジュルデーディスク コントローラ ● ジュルデー ディスク コントローラ ● ジェッム・ビディスク コントローラ 	
7 [°] ロハ [*] ティ(<u>E)</u> 夏新(<u>F</u>) 削除(<u>E</u>)	印刷心
ок	キャンセル

🛛 4.1.1

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコ ンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイ ス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは第4部「6トラブル シューティング」をご覧ください。

+ 1 Windows95 Version950/A では「OK」は「閉じる」となります。

次に、デバイスマネージャで「ATKK LA-ISA-T_V2 PNP ISA Ethernet」または 「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet」を選択(反転表示)し、「プロパティ」 「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作していま す。」と表示されていることをご確認ください。

田田	ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet
デバイスの	種類: ネットワーク アタフ な
製造元:	ATKK
ハードウェア	のパージョン: 1.0.10
ロデバイス	の状態
「デバイス	の使用
このう	^バイスを使用する設定のチェックボックスに印を付けてください。
	riginal Configuration (使用中)

図 4.1.2 デバイスの状態(Version 950/A)

ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernetのプロパティ ? 🗙
情報 ドライハ・リソース
ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet
テッパイスの種類: ネットワーク アタン な
製造元: ATKK
ハードウェアのハージョン: 1.0.10
テジバイスの状態
このデバイスは正常に動作しています。
_ デパイスの使用
☑ すべてのハードウェア環境で使用する
ОК ++уъл

図 4.1.3 デバイスの状態(Version B)

Windows95 VersionB をご使用の場合(図 4.1.4)は「ドライバ」タブが用意されて います。この「ドライバ」を表示した場合、下のように「このデバイスには、ドライ バファイルは必要でないか、または組み込まれていません。」という記述があります が、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありませんので安心してご使 用ください。

ATKK LA-ISA-25 情報 ドライバ	T_V2 PNP ISA Ethernetの710パライ ? × リソース
АТКК	LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet
製造元:	情報なし
日付:	10-27-1997
ለጐን≩ን:	情報なし
このデルイスに ていません。	は、ドライパ・ファイルが必要でないか、または読み込まれ
	ドライバ ファイルの詳細(2)
	ОК + +Уセル

図 4.1.4 VersionB の「ドライバ」タブ

リソースの確認

本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト(IRQ)などのリソースは、 Windows95 によって自動的に設定されます。これらの値を確認するには「デバイス マネージャ」「ネットワークアダプタ」「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet」「プロパティ」「リソース」と進んでください。

TKK LA-ISA-25T	V2 PNP ISA Ethernetのブロバティ	?
情報 リソース		
АТКК Ц.	A-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet	
リソースの設定(<u>R</u>):		
リソースの種類	設定	
I/O ポート アドレ	Z 0240 - 025F	
IRQ	11	
設定の登録名(回)	基本設定 0000	+
設定の変更(◎…	
競合するデバイス:		
競合なし		-
1		<u> </u>
		まいわり
		142 6/4

図 4.1.5 リソースの確認

Windows95

4.2 ネットワーク(コントロールパネル)

ネットワーク環境の設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。

小ワーク ネットワークの設定】ユーサー情報	175セス権の管理	?
現在のネットワーク構成(N):	1	
一 黒 Microsoft ネットワーク クラ	ተፖント	
NetWare ネットワーク クライ	アント	
B ATKK LA-ISA-25T_V	2 PNP ISA Ethernet	
NetBEUI		
1		
追加(A)	削除(R)	7 D/\'74(P)
Microsoft ネットワーク クライア	<u>ット</u>	•
コッイルとコキリの共有の	F)	
5717/C77570077CH	<u></u>	
- 記2月		
	01	(キャンヤル

🕱 4.2.1

ドライバの設定

本製品に関する設定を行います。図 4.2.1 で「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet」を選択しておき、「プロパティ」をクリックしてください。「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet のプロパティ」ダイアログが現れます。「ドライバの種類」を選択し、「エンハンスモード」(デフォルト)に設定します。

ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernetのフロハティ ドライハの種類、ハインド】詳細設定】	? ×
™ 使用するネットワーク ドライバの種類を選んでください。	
 ● エバルス モート[®] (32ビットまた」までもビット) NDIS ト[®]ライバ[®] ● リブル モート[®] (16ビット) NDIS ト[®]ライバ[®] 	
○ ሃንዜ ቺ∽ኑ° (16ピット) 0DI ኑ°ንብለ°	
ОК † ŧУt/	



ネットワークメディアの設定

「LA-ISA-25T」をご使用の場合にだけ意味を持つ設定です(「LA-ISA-T」は10BASE-Tのみを持ち、メディアの選択肢はありません)。「詳細設定」タブでネットワークメ ディアの設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを選択しま す。詳細はシステム管理者にご確認ください⁺¹。

ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP I	ISA Ethernetのプロバティ ? 🗙
トライバの種類 バインド 詳細語	设定
左の一覧から変更したい設 指定してください。	定をクリックし、右に新しい値を
7°ወ\\°ティ(Ⴒ):	値(亚):
Media Select	10B-2/T
	ОК <u></u> ++утри

図 4.2.3 ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

10B-2/T

ネットワークメディアとして、10BASE2(BNC)または10BASE-T(RJ-45 モ ジュラージャック)を使用します。10BASE2 と10BASE-T は、ケーブル(メ ディア)を接続することによって自動判別されます。ただし、両方のメディアを 接続した場合は、10BASE-T が優先されます。

10B-5

ネットワークメディアとして、10BASE5(AUI)を使用します。

 ¹⁰BASE-T における全2重/半2重(回線方式)は、CFGISA.EXE で変更できます。詳細は、第3
 部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

5 ドライバーの削除と再インストール

ドライバーのインストールを一旦完了するとその内容は保存され、次回からはパソコ ンを起動するだけで本製品およびネットワークを使用できます。

ドライバーのバージョンアップの場合など、ドライバーを再インストールしたい場合は、この項の手順にしたがって一旦現ドライバーをアンインストールした後に再イン ストールを行います。第4部「6トラブルシューティング」もご覧ください。

5.1 **ドライバーの削除**

ドライバーを削除する手順は以下の通りです。

(1)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 5.1.1 ドライバーの削除

(2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

デバイス剤	除の確認 ?×
	ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet
警告:こ	のデバイスをシステムから削除しようとしています。
	<u>ОК</u> ++>セル

図 5.1.2 デバイス削除の確認

(3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。

情報	デバイス マネージャ ハ	-ドウェア環境 バフォーマンス	
\odot	種類別に表示①	○ 接続別に表示(©)
		よてメゲームのコントローラ 〜ラ トローラ ア)	
	7 ቢ/ኑንተ(<u>R</u>)	更新(<u>F</u>) 削除(E	(N)

図 5.1.3 削除後のデバイスマネージャ

(4) 以上でドライバー削除の手続きは終了です。パソコンの電源を切断し、本製品 を拡張スロットから取り外してください。詳細は、第2部「設置・配線」をご 覧ください。

5.2 **再インストール**

再び本製品のドライバーをインストールする場合の手順は、初めてインストールする 場合と全く同じです。第4部「3ドライバーのインストール」に戻って再びインス トールを実行してください。

Windows95

6 トラブルシューティング

この項ではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

6.1 **デバイスマネージャでのエラー**

第4部「4.1 デバイスマネージャ・インストールの確認」にしたがって確認を行った ときに、「ALLIED TELESIS,K.K. LA-ISA V2」アイコンの表示が以下のようになっ ている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。ドライバーを一旦削除 し、再インストールしてください。手順は、第4部「5ドライバーの削除と再イン ストール」をご覧ください。

「ネットワークアダプタ」の項目がない†1

「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている
+1+2

アイコンに「!」^{†3}「?」「×」^{†4}マークがついている



図 6.1.1「?」マークがついている状態

+1 この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。

ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows95 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。

図 3.10(LAISAV2.SYSの要求)において「キャンセル」をクリックした。

- +2 以前、本製品のドライバーのインストールと削除を行ったことがあり、「新しいハードウエア」ダ イアログで「ドライバをインストールしない」を選択するとこのような状況に陥ります。
- +3 ドライバーのインストールを終えた後、パソコンを再起動していない場合は、「!」マークが付き ます。パソコンを再起動してください。
- † 4 Windows95 VersionB 使用時で「×」マークがついている場合は、後述の「6.2 使用許可の切り替 え」もご覧ください。

6.2 使用許可の切り替え (Version B のみ)

Windows95 VersionBの場合、アイコンに「×」マークがある場合は「デバイスの 使用不可」に設定していることも考えられます。この場合は以下の手順にしたがって 使用許可の状態を切り替えると本製品を使用できるようになります。

- 1. 「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet 」を選択(反転表示)し、「プロパ ティ」をクリックし、「情報」タプを表示します。
- 2. 「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外してください。

ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernetのንግስትንብ 🔹 🛛 🎗
情報 ドライバリソース
ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet
デバイスの種類: ネットワーク アタラ な
製造元: ATKK
ハートゥカエアのハニーション: 1.0.10
「 デバイスの状態
このデバイスは正常に動作しています。
□ このハートウェア環境で使用不可にする
☑ すべてのハートウェア環境で使用する
OK キャンセル

図 6.2.1 デバイスの使用許可の切り替え

Windows95

6.3 リソース値重複の回避

第4部「5ドライバーの削除と再インストール」の手順にしたがってドライバーの 削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」、「×」マーク が付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があ ります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows95に予め登録し(「予約」と呼びます)、その値が他のPlug & Play対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないように設定しておかなければなりません。

- Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト (IRQ), I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2)「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「パソコン」「パソコンのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加(A)..」をクリックします。画面の指示にしたがっ て予約するリソースの値を登録してください。

コ ンヒ*ュータのフ*ロハ*ティ リソースの表示 リソースの予約	?	Þ
 ● 割リ込み要求(IRQ) (R) ○ I/O ポート アドレス(Q) 	○ ダイレንト メモリ アクセス(DMA) (፬) ○ メモリ(ஹ	
設定		
	追加(4) 編集(E) 削除(V)	
	ОК + +У±и	

図 6.3.1 リソースの予約(起動時)

6.4 本製品を Legacy モードで使う

パソコンが「Plug & Play に対応していない」とか「原因は不明だがどうしても Plug & Play で動作させることができない」または「故意に Legacy モードで動作させた い」という状況では、本製品を「Legacy」モードに設定します。この節では、本製品を Legacy モードで使用するための手順を説明します。

空きリソースの確認

本製品を Legacy モードで使用するためには、リソース値の重複を回避するために、 あらかじめパソコンの空きリソース(割り込み要求(IRQ), I/Oポートアドレス)を調 べておかなければなりません。

- (1) 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「システム」アイコンをダブ ルクリックしてください。
- (2) 「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「デバイスマネージャ」タブ をクリックし、「コンピュータ」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリック してください。

バステムのフロハティ ? × 情報 デバイス マネージャ ハートヴェア環境 ハフォーマンス					
 ● 種類別に表示① ○ 接続別に表示② 					
•••••••••••••••••••••••••••••					
[<u>7ኪ/ティ(B)</u>] 更新(<u>F</u>) 削除(<u>E</u>) 印刷(<u>N</u>)					
ОК + +уън					

🗷 6.4.1

 (3)「コンピュータのプロパティ」ダイアログが現れます。「リソースの表示」タブ をクリックし、「割り込み要求(IRQ)」ラジオボタンをクリックしてください。 下記の例では、「11」と「15」が空いています。 Windows95

コンヒ*ュータの	סז'תא'דֿר ? >
リソースのま	表示】リソースの予約】
⊙割り C 1/0	<u>込み要求(IRQ) (R)</u> C なイレクト メモリ アクセス(DMA) (D) ボート アトプス(Q) C メモリ(M)
設定	現在のハートウェア 🔺
207	ጋ"ህンタ ホ"ート (LPT1)
B 08	ንステム CMOS/リアル タイム クロック
909	Matrox MGA Millennium PowerDesk
3 10	スタンダート IDE/ESDI ハート ディスク コントローラ
1 2	スタンダート' PS/2 ボート マウス
💻 13	数値データフロセッサ
314	スタンダート PCI IDE コントローラ
314	7°5/7″ IDE コントローラ (シングル FIFO)
	—
	OK ++>>セル

🛛 6.4.2

(4) 「I/O ポートアドレス」ラジオボタンをクリックしてください。下記の例では、
 「0240 - 025F」、「0300 - 031F」、「0340 - 035F」などが空いています。

 ○ 割り込み要求 ○ 1/0 ボート アドレ 	XO C XUM	
設定	現在のハートウェア	-
12 0200 - 0207	ケデームホプート ジョイスティック	
💁 0220 - 022F	Creative Labs Sound Blaster 16 Plug and Play	
🖳 0270 - 0273	ISA プラグアンドプレイ エミュレータ用 I/O リードデータ ポート	
🕑 02F8 - 02FF	通信木*ト(COM2)	
💁 0330 - 0331	Creative Labs Sound Blaster 16 Plug and Play	
🗐 036E - 036F	スタンダート IDE/ESDI ハート ディスク コントローラ	
🖉 0378 - 037A	7	
💁 0388 - 038B	Creative Labs Sound Blaster 16 Plug and Play	•
	,	_



本製品の設定

アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を使用し、下記のように設定します。手順の詳細は、第3部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

Legacy インタラプト(IRQ) 11(B) I/O アドレス 300 - 31F

ドライバーのインストール

ドライバーのインストールを行います。インストール時に要求される「Windows95 のメディア」や「本製品のドライバーディスク(LAISAV2.SYS)」に関する注意点は、 第4部「3ドライバーのインストール」をご覧ください。

- (5) Windows95 を起動します。
- (6) 「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」アイコンを ダブルクリックしてください。
- (7) 「ネットワーク」ダイアログが現れます。「追加」ボタンをクリックしてください。

ァトワーク ネットワークの設定	?
現在のネットワーク構成(<u>N</u>):	
	B) 711/74(B)
していたいです。 優先的に口がオンする Windows ログオン	
ファイルとフリンタの共有(E)	
- [兑8月	

🛛 6.4.4

(8) 「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログが現れます。「アダプタ」を選択しておき、「追加」ボタンをクリックしてください。

? >
追加(4)
キャンセル

🛛 6.4.5

(9) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが現れます。「ディスク使用」ボタ ンをクリックしてください。

キ ットワーク アタブ '9の 淀択 パード 'ウェアに合った キットワーク アダブ '9 を がっかして、[OK] を 押してください。 このデ 'パ ' (
製造元(g): ネルワーク アダ'ア'タ: 電 (検出されたネルワーク) 電 取存の Ndis2 ト*ライル* 電 Roton 電 Acoton 電 Advanced Mioro Devi 電 Liticat Talgerie
(す) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)使用(中) (デ*マスン)(使用(中) (デ*マスン)(使用(中)) (デ*マスン)(使用(中)) (デ*マスン)(使用(中)) (デ*マスン)(使用(中)) (デ*マスン)(使用(中)) (デ*マスン)(使用(中)) (デ*マスン)((テ*マー)) (デ*マスン)((テ*マー)) (デ*マスン)((テ*マー))((テ*マー)) (デ*マスン)((テ*マー))((テ*マー))(((**))(((()))(((()))(((()))(((()))(((()))((((

26.4.6

(10)「フロッピーディスクからインストール」ダイアログが現れます。ドライバー ディスクをフロッピードライブに入れ、「A:¥windows.95」(または「A:¥」)を 入力して、「OK」をクリックしてください。ここでは、フロッピードライブを A:と仮定します。

フロッピー ディスクからインストール	×
デル・(スの製造元が配布する()ストルディスク を指定したドラグにこ入れて、[ok] を押 してください。	OK キャンセル 参照(B)
配布ファイルのコビー元: A:¥windows.95	

🛛 6.4.7

+ 1 Windows95の供給メディア(CD-ROM、フロッピーディスク)に含まれている LA-ISA のドライ バー(古いバージョン)をインストールしないでください。 (11)「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが現れます。ご使用の製品名に合わ せて「モデル」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、 「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet」を選択すると仮定します。

ネゥトワーウ <u> </u>	7577なの選択 トトドウェアこそったねりやり アダプなをクリックして、[ロK] を押してください。 このデバイスのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] を押してくだ さい。
Ŧデ╠(L) ■₽ ATKK ■₽ ATKK	: (LA-ISA PNP ISA Ethernet (LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet (LA-ISA-T_V2 PNP ISA Ethernet
	ディスク使用(セ)
	ок 💦 🕂 + куріі

26.4.8

(12)「ネットワーク」ダイアログに戻り、「現在のネットワーク構成」欄に本製品の ドライバーが表示されます。

リソース確認

(13) 本製品のドライバーを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

ワーク			?
ットワークの設定】ユーザー1	青報】 アクセス権の管理]	
現在のネットワーウ構成(<u>N</u>			
📕 Microsoft ネットワーク	クライアント		
NetWare ネットワーク :	バイアント V2 PNP ISA Etherne	+	
う IPX/SPX 互換ブロト	ан с ане 14		
3 NetBEUI			
追加(<u>A</u>)	削除(<u>R</u>)	7,01,540	2
優先的にログオンする			45
Microsoft ネットワーク クラ	(アント		-
ファイルとフリンタの共	有(F)		
1888			
ネットワーク アダフ・タオ、ゴ	ル・ュータをネットワークに物:	理的に接続するハート	うェア
デバイスです。			
		ок 4	ャンヤル

🛛 6.4.9

(14)「ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernet のプロパティ」ダイアログが現 れます。「リソース」タブをクリックしてください。「設定の種類」から「現在 の設定」を選択し、「割り込み要求(IRQ)」、「I/O ポートアドレス」が正しい値 となっていることを確認してください。よければ「OK」ボタンをクリックして ください。

ATKK LA-ISA-25T_V2 PNP ISA Ethernetのプロバティ	? ×
ドライバの種類」パインド】詳細設定 リソース	
このネットワーウ アダプタを使うには、次のハードウェア設定が必 要です。	
設定の種類(D: 現在の設定 ▼ 割り込み番号(IRO) (D:	
	R
#印は、現在のハードウェフ設定を示します。 *印は、ほかのハードウェフとの競合を示します。	
	キャンセル

🛛 6.4.10

- (15)「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。
- (16) 下記のダイアログで「はい」を選択してください。Windows95 が再起動しま す。

システム設定の変更 ×						
新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要がありま 再起動しますか?						

🛛 6.4.11



Windows NT Version 4.0

第5部では、本製品のドライバーを Windows NT[®] Version 4.0 に インストールする手順を説明します。



1 準備

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

- 1. LA-ISA-T V2 **または** LA-ISA-25T V2 **アダプター**
- 2. LA-ISA V2 ドライバーディスク(本製品に付属)
- 3. **パソコン**(Windows NT Version 4.0 ServerまたはWorkstationがインストー ル済みのものをご用意ください)

本製品のインストールは、Windows NTのインストールが完了している パソコンに対して行ってください。Windows NT は Plug & Play をサ ポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に 行い、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェア リソースが他のデバイスと重複してしまうと、重複の回避に手間取るこ とがあります。

- 4. Windows NT Version 4.0(Server または Workstation)の供給 CD-ROM
- 5. Windows95 または MS-DOS の起動ディスク



アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を実行するために MS-DOS (またはWindows95)が必要です。ご使用のパソコンがWindowsNT 4.0 以外にも MS-DOS が実行できるように設定されていない場合は、 「Windows95の起動ディスク」または「MS-DOSの起動ディスク」をご用 意ください。

「Windows95の起動ディスク」は、Windows95を実行している他のパソ コンで、「マイコンピュータ」 「コントロールパネル」 「アプリケー ションの追加と削除」 「起動ディスク」タブ 「ディスクの作成」ボタン をクリックすることによって作成することができます。

また、本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作、 設定の詳細については Windows NT のマニュアルやヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに 同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使 用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコン ピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象 外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコン ピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることが あります。予めご了承ください。



本マニュアルでは、Windows NT Version 4.0 Workstationを用いて説明 します。

2 ドライバーのインストール

以下の手順にしたがって、ドライバーのインストールを行ってください。

2.1 **リソースの確認**

本製品が使用可能なハードウェアリソース(1/O ベースアドレス、インタラプト(= IRQ))の値を確認します。

 (1) WindowsNT が起動されていなければ起動し、「スタート」 「プログラム」
 「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。

				回 WinZip 回 スタートアッフ [。]	+ +	
	220	プログラム(<u>P</u>)		■ 管理ソール (共通)	Þ	- ▲ Windows NT 診断プログラム
ц		最近使ったファイル(<u>D</u>)	•			III イベントビューア よう
stati		設定(S)	•			アイスクアトドミニストレータ アイスクアトドミニストレータ アイソファンプ
Vork	2	検索(<u>F</u>)	•			ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
NT/	٩	∿ルフ°(<u>H</u>)				112 ユーザー マネージャ 131 リモート アクセス管理
Ňop	3**	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)			1	
Ň		›ቍፆ ኦያኻ ン(<u>ሀ</u>)				
R	ス 身−ŀ	コントロール パネル	<u>,</u>) マイ コンピュータ	Pa	aint Shop Pro 📰 (C:)

🛛 2.1.1

(2) 「リソース」タブを選択します。最初に「IRQ(I)」の画面が表示されます。下記の 例では、「2/9」、「5」、「10」、「11」が本製品で使用可能な空きです。設定可能 な値の範囲は「ユーザーズマニュアル」付録 A「4 IRQ」をご覧ください。

ドージョン] システム] ディスプレイ] ドライブ] メモリ _] サーI	ビス リソース 環境 ネ	ネットワーク]
		HAL リソースを	දුන්දි∰ 🗌
IRQ 01 03 04 06 12 14 15	テルペス i8042prt Serial Floppy i8042prt atapi atapi	ג'ת 0 0 0 0 0	▲ ISA ISA ISA ISA ISA ISA ISA
IR	QQ 1/0 #"-HT DMAQ	×٤٩(M)	デバイス(<u>V</u>)

🛛 2.1.2

(3) 「I/Oポート(T)」ボタンをクリックしてください。下記の例では、「240-25F」、 「280-29F」、「300-31F」などが本製品で使用可能な空きです。設定可能な値の 範囲は「ユーザーズマニュアル」付録A「3 I/Oアドレス」をご覧ください。

*-ジョン┃ システム	「ディスフ゜レイ」 ドライフ	バーメモリ ートサービス	、 リソース 環境	: ネットワーウ
			HAL ሦን	-スを含める(上
アドレス	デバイス		バス	種類
0060 - 0060	i8042prt		0	ISA
0064 - 0064	i8042prt		0	ISA
0170 - 0177	atapi		0	ISA
01CE - 01CF	VgaSave		0	PCI
01F0 - 01F7	atapi		0	ISA
02F8 - 02FE	Serial		0	ISA
0378 - 037A	Parport		0	ISA
J3B0 - O3BB	VgaSave		0	PCI
03C0 - 03CF	S3Inc		0	PCI
03C0 - 03DF	VgaSave		0	PCI
03C4 - 03C5	FsVga		0	内觀
03CE - 03CF	FsVga		0	内部
03D4 - 03D4	FsVga		U	이라
03D4 - 03DB	S3Inc		0	PCI
03D5 - 03D5	FsVga		0	内部
U3FU - U3F5	Floppy		U	ISA
U3F7 - U3F7	Floppy		U	ISA
IRO(I)	1/0 #°-km -	DMA(D)	VELICAD	デバイフ
INGREE				

🛛 2.1.3

2.2 アダプターの設定

WindowsNT 4.0は、Plug & Playに対応していないため、アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を使って本製品をLegacyモードに設定します。CFGISAは、「MS-DOS」または「Windows95のコマンドプロンプトのみ(Command Prompt Only)」のモードで実行することができます⁺¹。

- (1) パソコンの電源をオフにした状態で、本製品をパソコンの拡張スロットに取り 付けてください。詳細は、第2部「設置・配線」をご覧ください。
- (2) パソコンがMS-DOSで起動できるように設定されている場合は、MS-DOSを 起動してください。そのように設定されていない場合は、あらかじめ用意して おいた「Windows95の起動ディスク」をフロッピードライブに入れ、パソコン を起動してください。
- (3) MS-DOSまたはWindows95のコマンドプロンプトのみが起動したら、本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ(または入れ替え)次のコマンドを入力してください。ここでは、フロッピードライブをA:と仮定します。

^{† 1} Windows95 または MS-DOS が実行できる他のパソコンで「2.2 アダプター設定」を行っておき、 実際に使用するパソコンに本製品を取り付け直してから、「2.3 NDIS ドライバーのインストール」 を実行することもできます。

C:¥>A: A:¥>CFGISA

(4) アダプターの設定を行ってください。ここでは、以下のように設定すると仮定します。手順の詳細は、第3部「2アダプターの設定・CFGISA」をご覧ください。

Legacy

WindowsNT 4.0 では、Legacy モードに設定しなければなりません。

I/O Base Address (I/O $\pi - h$)

「2.1 リソースの確認」で調べた値の中から「300-31F」に設定すると仮定 します。「300-31F」は Legacy モードにおけるデフォルトです。

インタラプトレベル(IRQ)

「2.1 リソースの確認」で調べた値の中から「10(A)」に設定すると仮定します。

ネットワークメディア

希望のメディアを選択してください。この値は、WindowsNT で変更す ることができます。

回線方式

「Half Duplex」(半二重)を選択すると仮定します。「Half Duplex」はデ フォルトです。

(5) パソコンの電源を入れなおすか、パソコンのリセットスイッチを押し、
 WindowsNT 4.0 を起動してください[†]。

2.3 NDIS ドライバーのインストール

ここでは、「アダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合における本製品用ドライバーのインストール手順について説明します。また、ここでは、Windows NT Setupが要求する問いに対して、基本的にデフォルトで答えると仮定します。

(1) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」アイコンをダ ブルクリックしてください。

^{† 1} CTRL+ALT+DEL キーで再起動しないでください。CTRL+ALT+DEL による再起動では、本製品 が完全にリセットされず、「2.2 アダプターの設定」で施した内容が有効にならないことがありま す。



🛛 2.3.1

 (2) 今までにネットワーク環境をインストールしたことがなければ、次のダイアロ グが現れます⁺¹。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい (Y)」をクリックしてください。

ネットワーク	の構成
	Windows NT ネットワークがインストールされていません。 今すぐインストールしますか?
	TIT TO A IN IZ NO

🗷 2.3.2

(3) 「ネットワークセットアップウィザード」が表示されます。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。

ネットワーク セットブッフ ワイサシート	
	このコンビュータをネットワークに参加させる方法を指定してください。
	 ・ファイン・「接続し」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	(夏の風) 次へ(1)) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

🛛 2.3.3

+1 このダイアログではなく「ネットワーク」ダイアログが表示される場合は、既にネットワークに
 関する WindowsNT ファイルがインストールされています。この場合は、「ネットワーク」ダイア
 ログ 「アダプタ」 「追加」と進み、本製品のみのインストールとなります(手順(5)へ)。

(4) 「一覧から選択 (S):」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ* ウィザ゛ート゛	
	【検索開始】を対ックするとキットワーク アタフ ゆの検索を開始します。 検索開始(① ネットワーク アタフ な <u>(A)</u> -覧から選択(S) √
	(く 戻 5 (B) 次へ (W) キャンセル キャンセル

🗷 2.3.4

(5) 「ディスク使用 (H)」ボタンをクリックしてください⁺¹。

ットワーク ア 田副	27 300 送駅 27 100 ご飯の いっかい いっかい いっかい いっかい いっかい いっかい いっかい いっか
ネットワーク	/こといる アタヴタ <u>\N</u> :
≣ ∰3Cor	n 3C508 ISA 16-bit Ethernet Adapter
3Cor	a Etherlink II Adapter (also II/16 and II/16 TP) —
3Cor	n Etherlink III ISA/PCMCIA Adapter
3Cor	n EtherLink III PCI Bus-Master Adapter (3C590)
3Cor	n Etherlink16/EtherLink16 TP Adapter 🗨 💌
	ディスク使用(山)…
	0K ++721



(6) ディレクトリとして「A:¥windows.nt」を入力し、「OK」をクリックしてください。ここでは、フロッピードライブをA:と仮定します。

707t*~ 7	れたの挿入	\times
đ	ソフトウェアまたしまハートウェアの製造元から提供された、ソフトウェア ディスクを挿入してください。このディスクのファイルが見むのドライフや ディンクリなどにある場合は、そのバスを以下に入力してください。	ОК ++)セル
	A;¥windows.nt	

2.3.6

† 1 Windows NTの供給 CD-ROM に含まれている LA-ISA のドライバーを選択しないでください。必ず、「ディスク使用」をクリックし本製品に付属のドライバー(LA-ISA V2 用)をご使用ください。

(7) 「Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2アダプタ」を選択し、「OK」をクリックしてください。

DEM #)*ション(の選択) - h- T (до 1					/ 1 /1 - 11 - 1	ĺ
ህ-ኑ _ን	לידר לידר	き元のデ	シスクでサ	ホ °−ŀ	されている	5 771	ウェア オ	を選択して	ください。	
Alle	d Teles	is LA-K	SA/LA-	ISA Y	V2 7979					
					たいわけ					

🕱 2.3.7

(8) 「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2アダプタ」 にチェックが付いていることを確認し、「次へ (N):」をクリックしてください。

ネットワーク セットアッフ* ウィザ・ート	
	[検索開始] を別ックするとネットワーク アダン 多の検索を開始します。
	検索開始①
	ネットワーク アダブ 汐(A):
	IN BERAINED TELESIS LATISA/LATISA_V2 / % / %
dinger	
	一覧から選択(3)
~	
	< 戻る(B) <u>たへ(D) </u> キャンセル

2.3.8

 (9) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ (N):」をク リックしてください。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用さ れているかは、システム管理者にご相談ください。ここでは、「TCP/IPプロト コル」のみをチェックすると仮定します。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート	*
	ネットワーケで使用するネットワーク フロトコルを選択してください。不明な場合 しま、システム管理者に相談してください。
	ネットワーク ブロトコルレ£ン:
	一覧から選択(2)
	< 戻る(B) 次へ(M) > 、 キャンセル

2.3.9

(10) 使用するサービスにチェックマークを付け、「次へ (N):」をクリックしてくださ い。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、シス テム管理者にご相談ください。

ネットワーク セットアッフ・ウィザート	
	次の一覧には、システムによってインストールされるサービスが示されています。 【一覧から選択 を別ックすると、この一覧に追加できます。
	ネットワーク サービス(E):
	一覧から違択(5)
	< 戻る(B) 次へ(M) > 人 キャンセル



(11) メッセージを確認して、「次へ (N):」をクリックしてください。

ネットワーク セットアップ・ウィザート	\$
E E	選択されたネットワークコンボーネントとシステムに必要なネットワークコンボーネントを インストールします。 それそれのコンボーネントを正しくインストールするために、必要に応じて ダイアロケが表示されます。
	[次へ] を炒ックすると選択されたエンボーネントをインストールします。 選択を変更するには [戻る] をソリックしてください。
	〈 戻る(B) (次へ(N)) キャンセル



(12) Windows NTのインストール元のディレクトリ「D:¥i386」を指定してください。 ここでは、CD-ROM ドライブをD:と仮定します。

Windows I	NT セットアッフ・	×
f	いくつかの Windows NT フィルを北〜する必要があります。 セットアッフは、次の場所でフィルを検索します。ほかの場所を検 案させたい場合は、新しい場所を入力し、(統行)を別ックしてくだ さい。	続行
	D#i386	



(13)「Allied Telesis K.K. LA-ISA/LA-ISA V2アダプタカードセットアップ」ダイア ログが現れます。

Allied Telesis K.K. LA-ISA/LA-ISA V2	アダブタ カード セゥトアゥブ ⊠
メディアタイプ 10BaseT or 10Base2 💽	ОК +r>tzu
1/0 ベース アドレス 300 ・	ヘルレプ°(<u>H</u>)

🗷 2.3.13

メディアタイプ

ご使用のメディアを選択してください。LA-ISA-T V2をご使用の場合は、 必ず「10BaseT or 10Base2」を選択してください。

第5部「2.2 アダプターの設定」で設定した値を選択します。ここでは、 「300」を選択すると仮定します。

(14)「種類(T)」で「ISA」を選択し、「OK」をクリックしてください(「番号」はそのま まお使いください)。

パス ロケーショ	2 ? ×
システムに複製	波のハートウェア バスがあります。
選択してくた	フタガートかインストールされているバスの2種類と番号を Eさい。
種類(工):	ISA
番号(<u>N</u>):	
	<u>ОК</u> ++>セル



- (15) コピーが始まります。
- (16) (9)で「TCP/IP」を選択したので、「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」をクリックすると仮定します。

TG#/IP 251757		
⚠	ありわった上に CHOP チーバーがある場合は、動気に IP アドルスを掛けするように TOP/IP 客職成することができます。不利な場合は、シスケム管理制に開い合わせてください、 DHOP を使用し ますプロ	
	13. ON	
☑ 2.3.15		

 1 WindowsNTからIRQを変更することはできません。IRQを変更する場合は、CFGISAをご使用く ださい。詳細は、第3部「アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。 (17)「DHCPを使用しない」としたので、「TCP/IPのプロパティ」として IP アドレ スなどの値を設定しなければなりません。次に入力例を示します。これらの値 は、お客様の環境における値を入力してください。

Microsoft TCP/IPØ)ว*โIA*77 ? X						
IP アドレス DNS WINS アドレス ルーティング						
DHCP サーバーから IP アドレスを取得し、このネットワーク アタフタ カードに自動的 に割り当てることができます。ネッパワーカこ DHCP サーバーがなし 場合は、 ネットワーケ管理者にアドレスを問い合わせて、そのアドレスを下の本ックスに入力し てください。						
7ጵን"% <u>(P)</u> . [1] Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA <u>.</u> V2 ፖጵን"ጵ						
〇 DHCP サーバーから IP アドレ2を取得する(0)						
○ IP ThUZを指定する(S)						
IP 7ドレス(): 192 168 10 3						
ቻ7'ችፇՒ ₹スウ(∐): 255 255 0						
ቻን ォル ト ታ℃–トウェイ(<u>G</u>): 192 168 10 100						
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)						

🗷 2.3.16

(18) DNS(Domain Name System)の設定をします。「DNS」のタブをクリックして ください。次に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「keith」を仮定 しています。

Iterosoft TCP/IP07710/ディ ? × IP 7ドレス DNS WINS 7ドレス ルーディング*
ドゾイン ネーム システム (DNS) ホスト名(<u>H</u>): ドゾイン(<u>O</u>): keith abod.oo.jp
- DNS サービスの検索順序(S)
道加. 編集(E). 削除(V) - ドン(ク) サフィックスの検索順度(F).
abodico.jp 下へ迎す
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)



(19) 続いて、「WINS(Windows Internet Name Service)アドレス」の設定を行います。ここでは、「Windows 名前解決にDNSを使う(N)」を仮定しました^{†1}。必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

Microsoft TCP/IPのブロバティ ? × IP アドレス 〕 DNS WINS アドレス ↓-ティンゲ]
Windows
[1] Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 アタフタ
ブライマリ wins サーバー(<u>M</u>):
±ክንጵካ wins ታ−/ነ~(፩):
 ✓ Windows 名前解決に DNS を使う(№) ✓ LMHOSTS 参照を行う(₽) LMHOSTS を取り込む(₽
רָדָ (ש)מו "דָ-בָּג
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

2.3.18

(18)「次へ (N)」をクリックしてください。

ここでは、ネットワークのハイクトを無効にしたらし、このエルビューががネットワーク上で 情報を見つける順序を変えることができます。 ハイクドの表示(S): ● ■ NetBIOS インターフェイス ● ■ NetBIOS インターフェイス ● ■ ワークステーション
有効(E) 無効(Q) 上へ(Q) 下へ(Q) < 戻る(B)

2.3.19

(19)「次へ (N)」をクリックしてください。

49F7 - 7 89F9 97 - 749 - F	
ネットワークを起動する準備が整いました。	
じ次へ】を別ックするとネットワークを起動します。 実行中のネットワークを停止するには、[戻る]を別ックしてください。	
< 戻る(B) (次へ(W)) キャンセル	



 1 この図は Windows NT Workstation の場合の例です。Windows NT Server をご使用の場合はさらに 「DHCP リレー」タブがあります。詳細はシステム管理者にご確認ください。
(20)「次へ (N)」をクリックしてください。ここでは、「コンピュータ名」として 「KEITH」、「ワークグループ」として「WORKGROUP」をそのまま使用すると仮 定します。

ネットワーク セットアッフ* ウィザ・ート	
	コンビュータをワークウルーフェナロオトシインのどちらに参加させるかを選択し、そ の名前を入力してください。どちらを選択すればよいか、あるいは入力 する名前がわからない。場合は、ネッワーツ管理者に相談してください。
	コンピュータ名(©): (KEITH
	 ワークゲルーフ (W): [WORKGROUP]
	O KX()(2):
	🔲 エンビュータ アカウントの作成(B)
	〈 戻る(B) 次へ(U) > 入 キャンセル



(21)「完了」をクリックしてください。

このエンビュータニネットワークがインストールされました。 ネットワークを使用するにコは、このシステムを再起動しなければなりません。



(22)「はい(Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。

ネットワーク	設定の変更
	新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。 今すぐコンピュータを再起動しますか?
	UNITE UNITE

🛛 2.3.23

3 インストール後

3.1 リソース値の確認

「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」をクリックしてください。「Windows NT診断プログラム」ダイアログで「リソース」タブをクリックし、「LAISA」を選択してから、「プロパティ」をクリックしてください。本製品に割り当てられたリソースが表示されます。

<u>リソースの種類</u> パス 1/0 範囲 ISA 割り込み要求 ISA	設定 0300 - 031 F 10

図 3.1.1 リソースの表示

3.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品やネットワークを使用しないときは^{†1}、 ドライバーをアンロードしてください(バインドしない)。ドライバーがロードされた まま前述の作業を行った場合、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラー として検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象 はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」「ネットワーク」「バインド」タブと進みます。「バ インドの表示」で「すべてのアダプタ」を選択してください。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックしてください。本製品や プロトコルなどが無効を示すアイコンに変わります。使用を再開する場合は、 本製品のアイコンを選択し、「有効」ボタンをクリックしてください。

+1 ネットワークケーブルを外している、ハブの電源をオフにしている場合など。

ネットワー: 識別) サービス プロ	111 PST'S 11	ለንዞ]		? >
ネット 、フリ のハ を変	ワークのハインドと 1トコル、およびサ イントを無効してし 更することがで	は、このコンビュータ -ビス間の接続のこ .たり、このコンビュー きます。	上にインストールされ ことです。このベ -タがネットワーり上1	いているネットワー ージを使って、ネ ご情報を検索す	ウカート ネットワーク トる順序
が化	ドの表示(≦):	すべてのアダ	ל [°] ד		•
	② [1] Allied T ◎ NWLink TCP/IP ○ WINS り ○ サーノ ③ サーノ	elesis LA-ISA/L/ IPX/SPX 互換ト フロトコル ライアント(TCP/IP) BIOS インターフェイス パー リステーション	4-ISA_V2 7\$`7` ?)/スホ`-ト	8	
	有効(<u>E</u>)		FVM	<u>م</u> بل	0
			ОК		キャンセル

図 3.2.1 ドライバーのアンロード

4 ドライバーの削除と再インストール

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただ し、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削 除されません (一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されま す)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サー ビスなどを使用できます。

4.1 ドライバーの削除

- (1) 「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2アダプタ」
 を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。

29k7~9	? ×
識別 サービス フロトコル アダブタ ハインド	
ネットワーク アダラ [*] タ(<u>N</u>):	
III Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 アタフや	
) 	- I
	-
項目の記で明辺: Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2 アダプや	- I
	_
ок 1 *Уt	91-



(3) 「はい」をクリックし、(フロッピーディスクが入っている場合は取り出して)コンピュータを再起動します。

	.×.
$\underline{\Lambda}$	この操作はコンホーキントをシステムから削除します。 再度インストールするときは、その前にシステムを再起動してください。 続行しますか?
	III W IIIZW

🕱 4.1.2

4.2 **再インストール**

「4.1 ドライバーの削除」終了後(すなわちネットワーク環境を一度でもインストール したことがある場合)、再びドライバーのインストールを行う場合は「ネットワーク」 アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックし、「アダプタ」タブで「追加..」を クリックしてください。「2.3 NDISドライバーのインストール」の手順(5)から再開す ることになります(既にインストール済みの項目に関するダイアログは表示されない ことがあります)。

5



Windows NT Version 3.5x

第 6 部では、本製品のドライバーを Windows NT[®] Version 3.5 または 3.51 にインストールする手順を説明します。



1 準備

インストールを始める前に、以下のものをご用意ください。

- 1. LA-ISA-T V2 **または** LA-ISA-25T V2 **アダプター**
- 2. LA-ISA V2 ドライバーディスク(本製品に付属)
- 3. **パソコン**(Windows NT Version 3.5/3.51 Server または Workstation がイン ストール済みのものをご用意ください)

本製品のインストールは、Windows NTのインストールを完了している パソコンに対して行ってください。Windows NT は Plug & Play をサ ポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に 行い、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェア リソースが他のデバイスと重複してしまうと、重複の回避に手間取るこ とがあります。

- 4. Windows NT Version 3.5/3.51(Server または Workstation)の供給 CD-ROM
- 5. Windows95 または MS-DOS の起動ディスク



アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を実行するために MS-DOS (または Windows95)が必要です。ご使用のパソコンが WindowsNT 3.5/3.51 以外にも MS-DOS が実行できるように設定されていない場合 は、「Windows95 の起動ディスク」または「MS-DOS の起動ディスク」 をご用意ください。

「Windows95の起動ディスク」は、Windows95を実行している他のパ ソコンで、「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「アプリケー ションの追加と削除」 「起動ディスク」タブ 「ディスクの作成」ボ タンをクリックすることによって作成することができます。

また、本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作、 設定の詳細については Windows NT のマニュアルやヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに 同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使 用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコン ピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象 外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコン ピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることが あります。予めご了承ください。



本マニュアルでは、Windows NT Version 3.51 Workstation を用いて説 明します。

2 ドライバーのインストール

以下の手順にしたがって、ドライバーのインストールを行ってください。

2.1 **リソースの確認**

本製品が使用可能なハードウェアリソースの値を確認します。

Windows NTが起動されていなければ起動し、「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、「Windows NT診断プログラム」アイコンをダブルクリックしてください。

	· _
	9 ,
ユーザー ディスク パフォーマンスバックアップ イベント Wind マネージダドミニストレータ モニタ	ows NT ログラム

「IRQ/ポートの状態」をクリックしてください。

🛛 2.1.1

(2)

- Windows NT 診断ブログラム
 ファイル(F) ツール(T) ヘルブ(H)
 コンピュータ:¥¥10CC
 OS バージョン(Q)...
 デバイス(D)...
 バードウェア(W)...
 「FQ/ボートの状態(T)...]
 メモリ(M)...
 ドライバ(R)...
 ホットワーク(K)...
 ドライブ(V)...
 割り込みとボートの割り当てを表示します
 - 図 2.1.2 IRQ/ポートの状態

6

(3) 「割り込み / ポート」画面が表示されます。

_			割り込み	'ポート		
	割り込み					
	ベクタ レベル 関係 デバイス					
	1	1	0×FFFFFFFF	¥Device¥KeyboardF	Port0 🔺	
	4	4	0×00000000) ¥Device¥Serial0		
	6	6	0×00000000) Floppy		
	10	10	0×00000000) ¥Device¥ScsiPort0	+	
	共有ディ	スポジショ	ン――	割り込み	*タイプ―	
	未定義	排的	他的デバイ	ストレベル	の区別	
	土右	相利	他的ドライ	パートラッチ	溶み	
	7. E	171.1			//A * /	
			-+*. F			
			小一T	•		
	物理アド	レス	長さ	デバイス		
		0×60	0×1 ¥	Device¥KeyboardPort	0 🔸	
		0×64	0×1 ¥	Device¥KeyboardPort	• 🔲	
		0×1CE	0×2 ¥	Device¥Video1		
		0×1F0	0×8 A	tdisk	+	
			Ōĸ			

図 2.1.3 リソースの表示(IRQ、I/O Base Address)

割り込み(インタラプト、IRQ)

上記の例では、「2/9」、「5」、「10」、「11」が本製品で使用可能な空きで す。設定可能なの範囲は「ユーザーズマニュアル」付録 A「4 IRQ」をご 覧ください。

ポート(1/0 ペースアドレス)

下記の例では、「240-25F」、「280-29F」、「300-31F」などが本製品で使用可能な空きです。設定可能な値の範囲は「ユーザーズマニュアル」付録 A「3 I/O アドレス」をご覧ください。

(4) Windows NT 診断プログラムを終了します。

2.2 **アダプターの設定**

WindowsNT 3.5/3.51 は、Plug & Play に対応していないため、アダプター設定プログラム「CFGISA.EXE」を使って本製品を Legacy モードに設定します。CFGISAは、「MS-DOS」または「Windows95のコマンドプロンプトのみ(Command Prompt Only)」のモードで実行することができます⁺¹。

(1) パソコンの電源をオフにした状態で、本製品をパソコンの拡張スロットに取り 付けてください。詳細は、第2部「設置・配線」をご覧ください。

^{† 1} Windows95 または MS-DOS が実行できる他のパソコンで「2.2 アダプター設定」を行っておき、 実際に使用するパソコンに本製品を取り付け直してから、「2.3 NDIS ドライバーのインストール」 を実行することもできます。

- (2) パソコンが MS-DOS で起動できるように設定されている場合は、MS-DOS を 起動してください。そのように設定されていない場合は、あらかじめ用意して おいた「Windows95の起動ディスク」をフロッピードライブに入れ、パソコ ンを起動してください。
- (3) MS-DOSまたはWindows95のコマンドプロンプトのみが起動したら、本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ(または入れ替え)次のコマンドを入力してください。ここでは、フロッピードライブをA:と仮定します。

C:¥>A: A:¥>CFGISA

(4) アダプターの設定を行ってください。ここでは、以下のように設定すると仮定します。手順の詳細は、第3部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

Legacy

WindowsNT 3.5/3.51 では、Legacy モードに設定しなければなりません。

I/O Base Address (I/O $\pi - h$)

「2.1 リソースの確認」で調べた値の中から「300-31F」に設定すると仮 定します。「300-31F」は Legacy モードにおけるデフォルトです。

インタラプトレベル(IRQ)

「2.1 リソースの確認」で調べた値の中から「11」に設定すると仮定します。

ネットワークメディア

希望のメディアを選択してください。この値は、WindowsNT で変更することができます。

回線方式

「Half Duplex」(半二重)を選択すると仮定します。「Half Duplex」はデ フォルトです。

(5) パソコンの電源を入れなおすか、パソコンのリセットスイッチを押し、
 WindowsNT 3.5/3.51 を起動してください⁺¹。

^{† 1} CTRL+ALT+DEL キーで再起動しないでください。CTRL+ALT+DEL による再起動では、本製品 が完全にリセットされず、第3部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」で施した内容が有効にな らないことがあります。

2.3 NDIS ドライバーのインストール

ここでは、「アダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」場合における本製品用ドライバーのインストール手順について説明します。また、ここでは、Windows NT Setupが要求する問いに対して、基本的にデフォルトで答えると仮定します。

1. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



図 2.3.1 ネットワーク(コントロールパネル)

2. 「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して^{†1}、「はい」をクリックしてください。

ネットワークの設定
Windows NT ネットワークが組み込まれていま せん。直ちに組み込みますか?
[【まい(Y)] しいえ(N) へルプ(<u>H</u>)

2.3.2

† 1 プロトコルなどのネットワーク環境が既にインストールされている場合は「ネットワークの設定」
 ダイアログが表示されます。この場合は「アダプタカードの追加…」をクリックしてください。図
 2.3.6 が表示され、本製品のみのインストールが始まります。

 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT のマスターディ スク(ここでは CD-ROM を使用するとします)をドライブに挿入し、Windows NT の配布ファイルへのフルパス「¥I386」を入力します。ここでは、CD-ROM ドライブを G:と仮定します。

	Windows NT セットアップ
æ	Windows NT 配布ファイルへのフル バスを入力し てください。セットアップ フロッピー ディスク からファイルを組み込む場合は、ドライブ バス (A:¥i386 など) を入力してください。セットアッ ブは適切なディスクを挿入するよう指示しま す。 (9:¥i386

🛛 2.3.3

4. 「検出しない」をクリックしてください。

🚽 ネットワーク アダプタ カードの検出
セットアップはコンビュータ上のネットワーク アダプタ カードを自動的に検出して組み込み ます。
アダプタ カードを検出させるには、[続行 ボタ ンをクリックしてください。手動でアダプタ カードを選ぶ場合は、[検出しない]ボタンをク リックしてください。
続行 (検出しない(N)) ヘルプ(H)

図 2.3.4 ネットワークアダプタカードの検出

5. 「続行」をクリックしてください。



図 2.3.5 ネットワークアダプタカードの検出

 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークア ダプタカード(N):」リストボックスで「<その他>各メーカーのディスクが必 要」(最後から2行目)を選択し、「続行」をクリックします。





 LA-ISA V2 ドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、「A: ¥windows.nt」を入力してください。ここでは、フロッピーディスクドライブ を A:と仮定します。

	フロッビー ディスクの挿入	
æ	ソフトウェアまたはハードウェア メーカーが提 供しているソフトウェア ディスクを挿入してく ださい。このディスクのファイルがほかのドラ イブやディレクトリなどにある場合は、そのバ スを以下に入力してください。	
	A:¥windows.nt	
	OK #+>セル	

2.3.7

8. 「Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2アダプタ」がアクティブになっていること を確認して、「OK」をクリックして下さい。

➡ OEM オブションの選択		
ネットワーク アダプタ	タ ドライバを選択してください。	
Allied Telesis LA-ISA/L	LA-ISA V2 アダግプタ	
	+. > lou	
UK	++>)U)/ (<u>H</u>)	

2.3.8

9. ご使用のネットワークメディア(ネットワークケーブル)の種類を選択し、「OK」 をクリックしてください。

😑 Allied Telesis K.K. LA-ISA/LA-I	SA V2 アምንንዎ カ-ኑ ኮ
メディアタイプ	ОК
10BaseT or 10Base2 👤	キャンセル
1/O N"-Z PF"LZ	
300 🛨	ヘルプ(H)

🛛 2.3.9

メディアタイプ†1

ご使用のメディアを選択してください。LA-ISA-T V2をご使用の場合は、 必ず「10BaseT or 10Base2」を選択してください。

I/O ペースアドレス^{† 2}

第5部「2.2 アダプターの設定」で設定した値を選択します。ここでは、 「300」を選択すると仮定します。

10. 「バスの種類(T)」で「ISA」を選択し、「OK」をクリックしてください。

➡ バス ロケーション		
マシンに複数のハードウェア バスがあります。ネットワーク アダブタ カードが組み込まれているバスの種類と番号を選択し てください。		
ネットワーク カード:		
バスの種類(<u>T</u>): ISA	±	
バスの番号(<u>N</u>): D	±	
OK	キャンセル	

2.3.10

 ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」をクリック します。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、 システム管理者にご相談ください。ここでは、「TCP/IPトランスポート(T)」の みをチェックすると仮定します。

+1 10BASE-T の全2重/半2重は、「CFGISA」で変更できます。

+ 2 IRQ は、「CFGISA」で変更できます。



2.3.11

12. 手順 10 で TCP/IP を選択した場合は TCP/IP オプションに関する設定画面が 表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」をクリックして下 さい。

Windows NT TCP/I	> 組み込みオブショ	ョン
	ファイル サイズ:	
TCP/IP インターネットワーク ブロトコル 図 (接続ユーディリティ(C)) □ SNMP サービス(2) □ TCP/IP ネットワーク印刷サポート(E) □ TCP/IP ネットワーク印刷サポート(E) □ FTP サーパー サービス(E) □ 簡易 TCP/IP サービス(Q)	526KB 229KB 125KB) 61KB 95KB 23KB	続行 キャンセル ヘルフ [*] (<u>H</u>)
 □ DHCP 自動構成を有効にする(E)	必要な容量 755KB 空き容量 214,880KB	
TCP/IP 接続ユーティリティには finger、FTP、r* コマンド、Telnet などがあります。		

🛛 2.3.12

13. ファイルのコピーが行われます。コピーが終了すると、下のダイアログが表示 されます。「バインド(B)」をクリックしてください。

ニー ネットワークの設定		
ほかのコンボーネントを組み込まない場合には、[OK]ボタンをクリックしてくだ さい。組み込むときは、このダイアログで[アダアタ カードの追加]または[ソフトウェアの追 加]を選んでネットワーク アダブタまたはソフトウェアを追加してください。選 択したアイテムをカスタマイズするときは[構成]を選んでください。		
 ネットワ-ク ソフトウェアとアダ[*]プタ カ-ト^{**} 組み込まれているネットワ-ク ソフトウェア(W): Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2 ↓ Yフトウェアの追加(S) アダ[*]プタ カ-ト[*]の追加(P) コンピュ-タ ブラウザ^{**} 組み込まれているアダ[*]プタ カ-ト[*](A): 【1] Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2 更新(U) 	OK 終了 別 ^{**} 行)F [*] (<u>B</u>) [*] 쿠ドワーク(<u>N</u>)	
説明(<u>T</u>): Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 アダ ^ッ フ ^o タ	<u>∧,µ7°(H</u>)	



14. 「OK」をクリックしてください。

- ネットワー	-クのバインド
バインドの表示(<u>S</u>): < すべてのコンカ	°-ネント> 🛨
< 上位バインド	下位バインド>
NetBIOS インタ-フェイス -> WINS クライアント(TO TCP/IP プロトコル -> Allied Telesis LA-ISA サーバー -> WINS クライアント(TCP/IP) -> Alli ワークステーション -> WINS クライアント(TCP/IP) -	CP/IP) -> Allied Telesis LA-ISA/LA-IS/ VLA-ISA_V2 アダプタ ドラハバ -> [1] Alli ed Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 アダプタ > Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 アタ
•	1
 OK	効(E) 無効(<u>D</u>) ヘルプ [*] (<u>H</u>)

🕱 2.3.14

15. 「OK」をクリックします。

<mark>-</mark> ネット	ワークの設定	
(おかのコンボーネントを組み込まない場合には、[OK]ボタンをクリックしてください。組み込むときは、このダイアログで[アダアタ カードの追加]または[ソフトウェアの追加]を選んでネットワーク アダブタまたはソフトウェアを追加してください。選択したアイテムをカスタマイズするときは[構成]を選んでください。		
「ネットワ-ク ソフトウェアとアダ [™] プタ カ-ト [™] 組み込まれているネットワ-ク ソフトウェア(<u>W</u>): Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 1・ NetBIOS インターフェイス RPC 構成 TCP/IP プロトコル コンピュータ ブラウザ [™] ・ 組み込まれているアダ [™] プタ カ-ト [™] (<u>A</u>): [1] Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2] 説明(<u>T</u>): Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA	ソフトウェアの追加(<u>S</u>) アダ [、] アタ カート [、] の追加(<u>P</u>) 構成(<u>C</u>) 更新(<u>U</u>)	OK 終了 パ ^ĸ インド(<u>B</u>) ネットワーク(<u>N</u>)

🕱 2.3.15

16. TCP/IPに関する設定画面が表示されます。各項目をご使用の環境に合わせて設定し、「OK」をクリックしてください。詳細はシステム管理者にご確認ください。

_	TCP/IP の構成			
	「アダプタ(A): [1] Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 アタフタ ま OK			
	□ DHCP 自動構成を有効にする(E) キャンセル			
	IP アドレス(): 192 .168 .10 .3 DNS(N)			
	サブネットマスク(山): 255 .255 .0 詳細(い)			
	デフォルト ゲートウェイ(D). <u>192.168.10.100</u>			
	フライマリ WINS サーバー(型):			
	デフォルト ゲートウェイはリモート送信先に TCP/IP トラフィックを送信します。ネットワーク管理者はローカル ゲートウェイの IP アドレスを提供する必要があります。			

2.3.16

ー DNS の構成		
ホスト名(N): lab38 ドメイン名(): abod.co.jp		
「ドメイン ネーム サービス (DNS) の検索順序(S)		
192.168.10.200 丁 (<育財隊(型)		
ドメイン サフィックスの検索順序(2) ・ <td< td=""></td<>		
OK キャンセル ヘルプ(<u>H</u>)		
この一覧(優先順)は、ホスト名解決中にホスト名に適用されるドメイン サフィックス を指定します。ネットワーク管理者はこの値を提供する必要があります。		

図 2.3.17 DNS の構成 画面 4.17 で「DNS」をクリック)

ー Microsoft TCP/IP の詳細構成			
アダプタ(P) [1] Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 7分7分			
IP アドレス サンキット マスク IP アドレス サンキット マスク 192.168.10.3 255.255.255.0 サンキット マスク(5) (一一百四年(5))			
デフォルト ゲートウ±イ(E): 			
Windows ネットワーク パラメータ □ Windows 名前解決こ DNS を使用する(E) 区 LMHOSTS の参照を行う(L) ユニーフ* ID(C):			
 □ WINS 代理エージェントを有効にする000 □ IP ルーラィングを有効にする00 			
OK キャンセル ヘルフ (出)			
詳細オプションを構成するには、ネットワーク アダプタを選択してください。			

図 2.3.18 TCP/IP の詳細設定(画面 4.17 で「詳細」をクリック)

17. 「ドメイン / ワークグループの設定」が表示されます。ここでは、「ワークグルー プ」に参加すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

🚽 ドメイン/ワークグループの設定			
コンビュータ名: LAB38 F次のメンバー・	ОК		
● ワークグループ(<u>₩</u>): WORKGROUP	キャンセル		
○ ドメイン(<u>D</u>):	ヘルプ(<u>H</u>)		
□ コンビュータ アカウントの作成(<u>C</u> (ドメイン管理者のみ))		
ユーザー名(<u>U</u>):			
バスワード(<u>P</u>):			
ワークグルーブに参加するには、[ワークグルーブ]に参加した いグループ名を入力して[OK]ボタンをクリックしてください。 既にこのコンピュータのアカウントが登録されているドメイン に参加するには、その名前を入力し、[OK]ボタンをクリックし てください。			
このコンピュータのコンピュータ アカウントを追加しなければ ならない場合は、[ユーザー名]オブションを選択し、ドメイン にワークステーションを追加する権限のあるアカウントの名前 とバスワードを入力してください。			

図 2.3.19 ドメイン / ワークグループの設定

下の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクドライブから取りだし、
 「コンピュータの再起動」アイコンをクリックして、再起動します。

😑 🛛 Windows NT Workstation ネットワーク セットアップ
Windows NT Workstation ネットワークが組み込まれました。
フロッビー ディスク ドライブからディスクを取り出し、ほ かのアブリケーションを終了し、[コンビュータの再起動ボタ ンをクリックしてシステムを再起動してください。
コンビュータの再起動(<u>R</u>)



3 インストール後

3.1 **リソースの確認**

「プログラムマネージャー」 「管理ツール」 「Windows NT 診断プログラム」ア イコン 「IRQ/ポートの状態(I)」ボタンをクリックしてください。本製品のリソー スが確認できます。

_			割り込。	みボー	<u> </u>	
			東山川	7 2,		
			舌19)	207		
	ベクタ	レベル	関係	デノ	バイス	
	6	6	0×00000	000 Flopp	у	+
	10	10	0×00310	041 ¥Devi	ice¥LAISA1	
	12	12	0×FFFFF	FF ¥Devi	ice¥KeyboardPo	ort0
	14	14	0×00000	000 Atdis	k	+
	共有ディ	スポジシ	ョン——		割り込み	タイプ―
	未定義					
	土右				ラッチジ	
			1.0			
			- 赤ー	- 1-		
	物理アト	『レス	長さ	デバイ	イス	
		0×17	0 0×8	¥Device ³	éScsiPort0	+
		0×1 F	0 0×8	Atdisk		
		0×30	0 0×20	¥Device ³	éLAISA1	
		0×3B	0 0×C	¥Device ³	fVideo1	•
			Ō	K		



3.2 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品やネットワークを使用しないときは^{†1}、 ドライバーをアンロードしてください(バインドしない)。ドライバーがロードされた まま前述の作業を行った場合、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラー として検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象 はドライバーをアンロードすることによって回避できます。

- (1)「コントロールパネル」「ネットワーク」「ネットワークの設定」「バインド(B)..」と進みます。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、<u>左端の電球のマーク</u>を選択して「無効」を クリックし、電球が消えている状態にしてください。

	ネットワークのバインド	
バインドの表示(<u>S</u>):	< すべてのコンポーネント >	±
< 上位バインド		 下位バインド>
 NetBIOS インターフェイス -> TCP/IP プロレコル -> Allie サーバー -> WINS クライアン ワークステーション -> WINS ク 	WINS 77777(TCP/IP) -> Allied Te d Telesis LA-ISA/LA-ISA_V2 79"; K(TCP/IP) -> Allied Telesis LA-ISA 5777K(TCP/IP) -> Allied Telesis LA	esis LA-ISA/LA-IS/ プタト"ライハ" -> [1] Alli VLA-ISA_V2 アダプアタ ISA/LA-ISA_V2 アタ
• OK \$777	セル 有効(E) 無交	



4 ドライバーの削除と再インストール

本製品のドライバーおよび登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません (一部の設定値、例えば TCP/IP における IP アドレスなどは削除されます)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

4.1 ドライバーの削除

 「プログラムマネージャ」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」とた どって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれて いるアダプタカード」リストから「Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2 アダプ タ」を選択し、「削除」をクリックします。

-	ネ	ットワークの設定	
コンピュータ名:	LAB38	変更(<u>G</u>)	
ワークグルーフ°:	WORKGROUP	变更(<u>E</u>)	
┌ネットワーク ソフトウ 組み込まれて	ェアとアダプタ カード ーー ているネットワーク ソフトウェア((<u>w</u>):]
Allied Telesis NetBIOS 心 RPC 構成	s LA-ISA/LA-ISA_V2 १-७1४	↓ ソフトウェアの追加(<u>S</u>)	OK technik
TCP/IP プロトコ コンピュータ フ ^い ラ	ル ^ラ ウザ	▼	איזע איז איזע איזע איזע איזע איזע איזע א
組み込まれで [1] Allied Tel	こいるアダプタ カード(<u>A</u>): esis LA=ISA/LA=ISA		ネットワーク(<u>N</u>)
			ヘルプ(<u>H</u>)
説明(<u>T</u>): AI	lied Telesis LA-ISA/L/	A-ISA_V2 <i>ፑፃ</i> ግንፃ	

🗷 4.1.1

2. 「はい」をクリックします。



🕱 4.1.2

3. 「組み込まれているアダプタカード」から「Allied Telesis LA-ISA/LA-ISA V2 アダプタ」が消えていることを確認して「OK」をクリックします。

		ネットワークの設定	
コンピュータ名:	LAB38	変更(<u>G</u>)	
ワ-97"ル-7°:	WORKGROUP	变更(<u>E</u>)	
Fネットワーク ソフトウ:	ェアとアダンプタ カードー		1
組み込まれて	こいるネットワーク ソフトウ	ı7(<u>₩</u>):	
NetBIOS かえ RPC 構成	9-7117	▲ ソフトウェアの追加(S)	OK
TCP/IP プロトコ コンピュータ ブラ	ル ウザ"	アダプタカードの追加(<u>P</u>)	終了
<u> </u>			パ"インド"(<u>B</u>)
		更新(<u>U</u>)	ネットワーク(<u>N</u>)
		削除(<u>R</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)
説明(<u>T</u>): Mi	crosoft NetBIOS k	 ランスポート インターフェイス	



4. 「再起動する」をクリックして、(フロッピーディスクが入っている場合は取り 出して)コンピュータを再起動します。

ネットワー	·ク設定の変更
ネットワークの設定	が変更されました。
新しい設定を有効に 終了して再起動する	するには、Windows NT を 必要があります。
再起動しない(<u>D</u>)	再起動する(<u>R</u>)



4.2 **再インストール**

ドライバーの削除を行った後、再びドライバーのインストールを行う場合はネット ワーク(コントロールパネル)を起動し、「アダプタカードの追加..」をクリックして ください。



NetWare Server

第7部では、本製品のドライバーをNetWare、IntranetWareにイン ストールする手順を説明します。

1 NetWare 4.1xJ サーバー

NetWare 4.11J/4.1Jサーバーのインストール手順の概要を説明します。インストールの前に下記のことが実行されていなければなりません。

- [1] CFGISA.EXEによって、本アダプターが「Legacy」モードに設定されており、I/ Oアドレス、インタラプトも設定されていること(あらかじめETHDIAGを使用 し、本アダプターが正常に動作することを確認しておいてください。第3部「ア ダプターの設定」をご覧ください)。
- また、ここでは下記の2点を仮定します。
- [2] NetWareサーバーをインストールするパソコンは、ハードディスク容量の一部 がMS-DOSのパーティションとして割り当てられており、そのパーティション から MS-DOS の起動ができるよう準備してあります。
- [3] 既にNetWareサーバーのインストールは終了しており、本アダプターのドライ バーをインストールすれば全て完了の状態となっています。

以下に手順を説明します。詳細に関しては、NetWareパッケージのマニュアルをご 覧ください。

 SERVER.EXE」を起動します。SERVER.EXE は、C:¥NWSERVER に存在す ると仮定します。

C:¥>**CD NWSERVER** C:¥NWSERVER>**SERVER**

SERVERが起動すると、下記のようなプロンプト(「NetWareのインストールの とき指定したサーバー名」+「:」)が表示されます。ここでは、サーバー名とし て「LILITH」を仮定します。

LILITH:

(2) 下記のコマンドを入力してください。

LILITH:LOAD INSTALL

(3) 次のようにメニューの項目を選択していき、「ドライバーの選択」画面を表示さ せてください。

画面「インストールオプション」 項目「ドライバーオプション」
 画面「ドライバーオプション」 項目「ネットワークドライバーの設定」
 画面「追加ドライバーに対する操作」 項目「追加ドライバーの選択」
 画面「ドライバーの選択」

- (4) 画面「ドライバーの選択」が現れたら、「Ins」キー(リストにないドライバーの インストール)を押し、表示されるメッセージを確認してください。
- (5) フロッピードライブにドライバーディスクを入れてF3キーを押し、「ディレクトリパスの指定」で下記のディレクトリを入力してください。ここでは、フロッ ピードライブをA:と仮定します。

NetWare 4.11J(IntranetWare)の場合

A:¥NETWARE.386¥411

NetWare 4.1J の場合

A:¥NETWARE.386¥410

- (6) 画面「インストールするドライバーの選択」が現れます。項目「LAISA.LAN」を選択し、リターンキーを押してください。
- (7) 表示されるメッセージにしたがい、LAISA.LAN、LAISA.LDIをコピーしてくだ さい。
- (8) プロトコル、パラメータを設定する画面が現れます。各項目に適切な設定を入 力し、「パラメータを保存し、ドライバーをロード」を選択してください。各項 目について、以下に説明します。
 - TCP/IP、AppleTalk 必要であれば選択し、設定を施してください。

ポートアドレス

CFGISAによって設定したI/Oアドレスを入力してください。この項目の 上にカーソルを移動させ、リターンキーを押すと、選択可能な値のメ ニューが表示されます。

- (9) 「バインドするネットワーク番号」の入力を求める画面に対して、お客様の環境 における適切な数値を入力してください。
- (10)「追加のネットワークドライバーを選択しますか?」に対して「No」を選択し てください。以上で、本アダプターのドライバーインストールは終了です。

(11) 次のようにメニューの項目を選択していき、「インストールオプション」画面に 戻ってください。

画面「追加ドライバーに対する操作」 項目「前のメニューに戻る」 画面「ドライバーオプション」 項目「前のメニューに戻る」 画面「インストールオプション」

AUTOEXEC.NCF の例[†]1

AUTOEXEC.NCFファイルの例を示します。ただし、この例では2枚の本アダプター を実装しており、複数のプロトコルをサポートしています。

LOAD LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAISA_1_E83
BIND IPX LAISA_1_E83 NET=1024D50
LOAD LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAISA_1_E82
BIND IPX LAISA_1_E82 NET=9E705CB8
LOAD LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_II NAME=LAISA_1_EII
BIND IPX LAISA_1_EII NET=6DD0B468
LOAD LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_snap NAME=LAISA_1_ESP
BIND IPX LAISA_1_ESP NET=1C1F1B36
LOAD LAISA PORT=240 FRAME=ethernet_802.3 NAME=LAISA_2_E83
BIND IPX LAISA_2_E83 NET=214965CA
LOAD LAISA PORT=240 FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAISA_2_E82
BIND IPX LAISA_2_E82 NET=21796DDA
LOAD LAISA PORT=240 FRAME=ethernet_II NAME=LAISA_2_EII
BIND IPX LAISA_2_EII NET=CFBC5ECF
LOAD LAISA PORT=240 FRAME=ethernet_snap NAME=LAISA_2_ESP
BIND IPX LAISA_2_ESP NET=7387F29

2 NetWare 3.12J サーバー

NetWare 3.12Jサーバーのインストール手順の概要を説明します。インストールの前に下記のことが実行されていなければなりません。

[1] CFGISA.EXEによって、本アダプターの動作モードが「Legacy」に設定されてお り、I/Oアドレス、インタラプトも設定されていること(ETHDIAGを使用し、 本アダプターが正常に動作することを確認しておいてください)。

また、ここでは下記の2点を仮定します。

- [2] NetWareサーバーをインストールするパソコンは、ハードディスク容量の一部 がMS-DOSのパーティションとして割り当てられており、そのパーティション から MS-DOS の起動ができるよう準備してあります。
- [3] 既にNetWareサーバーのインストールは終了しており、本アダプターのドライ バーをインストールすれば全て完了の状態となっています。

以下に手順を説明します。詳細に関しては、NetWareパッケージのマニュアルをご 覧ください。

 (1) NetWareサーバーの起動コマンド「SERVER.EXE」が存在するディレクトリに、 LA-ISAのドライバーをコピーします。ここでは、SERVER.EXEはC: ¥SERVER.312に存在し、フロッピードライブはC:と仮定します。

C: ¥>COPY A: ¥NETWARE. 386¥312¥LAISA.LAN C: ¥SERVER. 312

(2) 「SERVER.EXE」を起動します。

C:¥>CD SERVER.312 C:¥SERVER.312>SERVER

SERVERが起動すると、下記のようなプロンプト(「NetWareのインストールのとき指定したサーバー名」+「:」)が表示されます。ここでは、サーバー名として「LILITH」を仮定します。

LILITH:

(3) ドライバーをロードします。「PORT=」の数値は、CFGISAで設定したI/Oアド レスの先頭値です。

LILITH:LOAD C:\SERVER.312\LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_802.2 NAME=LAISA_1_E82

(4) ドライバーに対して、IPXプロトコルのバインドを行います。「NET=」に続く数 値は、お客様の環境に合った数値を入力してください。

LILITH: BIND IPX LAISA_1_E82 NET=1024D50

(5) 手順(3)(4)で入力したコマンド行は、下記のコマンドを入力し、

LILITH: LOAD INSTALL

下記の順にメニューを選択して、AUTOEXEC.NCFファイルを保存すれば、次回のサーバー起動のとき、自動的に実行されます。

画面「インストレーションオプション」 項目「システムオプション」 画面 「利用可能なシステムオプション」 項目「AUTOEXEC.NCF ファイルの作成」

AUTOEXEC.NCF の例^{†1}

AUTOEXEC.NCFファイルの例を示します。ただし、この例では2枚の本アダプター を実装しており、複数のプロトコルをサポートしています。

```
LOAD C:\SERVER.312\LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_802.3
NAME=LAISA_1_E83
BIND IPX LAISA_1_E83 NET=1024D50
LOAD C:\SERVER.312\LAISA PORT=300 FRAME=ethernet_802.2
NAME=LAISA_1_E82
BIND IPX LAISA_1_E82 NET=9E705CB8
LOAD C:\SERVER.312\LAISA PORT=240 FRAME=ethernet_802.3
NAME=LAISA_2_E83
BIND IPX LAISA_2_E83 NET=214965CA
LOAD C:\SERVER.312\LAISA PORT=240 FRAME=ethernet_802.2
NAME=LAISA_2_E82
BIND IPX LAISA_2_E82 NET=21796DDA
```

^{†1} LAISA.LANは、コマンドの引数としてIRQ、全2重/半2重を取ることはできません。これらの 設定は、あらかじめCFGISAで行っておいてください。紙面の都合上、LOADコマンドが2行に またがっています。実際には、「LOAD......NAME=.....」は連続行です。



NetWare DOS Client

第8部では、本製品のODI DOSドライバーをMS-DOSにインストー ルする方法について説明します。

$\bullet \bullet $	
各項目の説明は「LA-ISA-25T V2」をもとにしています。「LA-	
ISA-T V2」をご使用の場合は、文字列を「LA-ISA-T V2」に	
読み替えてください。また、「LA-ISA-25T V2」または「LA-	
ISA-T V2」のどちらか一方にしか適用できない事柄は明記さ	
れています。	

1 NetWare 4.1xJ/3.12J **クライアント**

NetWare 4.11J/4.1J/3.12Jクライアントのインストール手順の概要を示します。インストール手順の詳細は、各 NetWare のマニュアルをご覧ください。

準備

DOS ODI ドライバーのインストールを実行する前に、ご使用になるパソコンや本製品に対して、あらかじめ以下のことを施しておいてください。

- [1] Plug & Play 対応パソコンの場合、パソコンが Plug & Play をサポートするように設定されていること。詳細は、第3部「3 MS-DOS・Windows 3.1 における Plug & Play」をご覧ください。
- [2] Plug & Play に対応していないパソコンの場合、「CFGISA.EXE」によってモード、I/Oアドレス、インタラプトが設定されていること。詳細は、第3部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

インストール

NetWare 4.11J/4.1J の場合は、「NetWare Client for DOS and MS Windows Disk-1」^{†1}をフロッピードライブに入れ、下記のコマンドを実行してください
^{†1}。

A:¥>INSTALL

NetWare 3.12J の場合は、「WSDOS_1」ディスクをフロッピードライブに入れ、下記のコマンドを実行してください。

A:¥>WSINST

(2) NetWare 4.11J の場合、まず次の3つの質問が行われます。お客様の環境に 合わせて適切なものを選んでください。

^{† 1} NetWare 4.11J の場合、あらかじめ供給 CD-ROM からインストール用のフロッピーディスクの セットを作成しておかなければなりません。CD-ROMから直接インストールする方法もあります が、ここではフロッピーディスクからインストールすると仮定します。

^{† 2} NetWare 4.1J の場合、「INSTALL」を実行する前に「SET NWLANGUAGE=NIHONGO」を実行 してください。この環境変数がセットされていない場合、メッセージが英語となります。詳細は、 NetWare 4.1Jのマニュアルをご覧ください。

NetWare DOS client

8

・インストールするクライアントの選択

・時間に関する環境変数の設定

- (3) 続いて、6つの項目が表示されます。まず、1.、2.、3.、4.の質問に対して画 面の指示にしたがって答えてください。
- (4) NetWare 4.11Jの場合、5.で「ネットワークボード」を選択します。「リスト を表示するには、ここを選択して <ENTER> を押してください」を選択して、 リターンキーを押してください。手順(5)に進みます。

NetWare 4.1Jの場合、「5. ネットワークボードのドライバーを選択してください」を実行すると、新たな画面「ネットワークボード」が表示されます。最下行の「他のドライバー」を選択してリターンキーを押して下さい。手順(5)に進みます。

NetWare 3.12J の場合、「ステップ 5.」を実行すると、手順 5)に進みます。

(4) 「ドライバーディスクの挿入」を促す画面が表示されます。フロッピードライブ
 をLA-ISA ドライバーディスクに入れ替え、次のディレクトリ名を入力してリターンキーを押してください。

NetWare 4.11J の場合

A:¥>¥NETWARE.DOS¥NW411

NetWare 4.1J の場合

A:¥>¥NETWARE.DOS¥NW410

NetWare 3.12JJ の場合

A:¥>¥NETWARE.DOS¥NW312

- (5)「CentreCOM LA-ISA/LA-ISA_V2」を選択し、リターンキーを押してください。
- (6) 「CentreCOM LA-ISA/LA-ISA_V2 の設定」という画面が表示されます。以下の項目の設定が終了したら ESC キーを押し、この画面を終了してください。

ベース 1/0 ポート

 Plug & Play に対応していないパソコンの場合は、CFGISA で設定した

 I/O アドレスを入力してください(工場出荷時設定は「300」)。

 Plug & Play 対応パソコンの場合は、「300」を選択してください

 (NET.CFG に port 記述行が追加されますが、無視されます)。

Media Frame Type(S) ご使用になるフレームタイプを選択してください。

- (7) 以後、インストールプログラムが表示するメッセージに従って操作してください。
- (8) インストールが終了し、DOSプロンプトが表示されたら、リセットスイッチを 押してパソコンを再立ち上げしてください。

2 インストール結果

インストールが終了すると、NetWare クライアントの動作に必要なファイルやドラ イバー「LAISA.COM」がコピーされ、NET.CFG、STARTNET.BAT が作成されます [†] 1。NetWare クライアントのインストーラに対して、デフォルトの項目を選択した ときの NET.CFG、STARTNET.BAT を示します。

2.1 NET.CFG^{† 2}

1/0 **アドレス**

「Port」の後には、NetWare クライアントのインストーラで選択した数値が記述されます。Plug & Play 対応パソコンの場合、この記述は無視されます(削除してもかまいません)。Plug & Play 非対応パソコンの場合は、CFGISA で設定した I/O アドレス(先頭の値)が記述されていなければなりません。

インタラプトレベル

パソコンの Plug & Play 対応、非対応に関わらず、インタラプトレベルを記述 する必要はありません。

4.1J(デフォルト)

Link Driver LAISA
PORT 300
FRAME Ethernet_802.2
NetWare DOS Requester
FIRST NETWORK DRIVE = F
NETWARE PROTOCOL = NDS BIND
SHORT MACHINE TYPE = DOSV

- † 1 NetWare のインストーラは、AUTOEXEC.BAT の先頭に「@CALL C:¥NWCLIENT¥STARTNET」 を追加し、PATH に「C:¥NWCLIENT」を追加します。また、NetWare 4.11J の場合は、時間に関 する環境変数「SET TZ=JST-9」も追加されます。
- † 1 NET.CFG に IRQ、全2重/半2重に関するオプションを記述することはできません。これらの設定は、あらかじめ CFGISA で行っておいてください。

Link Driver LAISA
PORT 300
FRAME Ethernet_802.2
NetWare DOS Requester
NETWARE PROTOCOL = NDS BIND
Checksum = 0
First Network Drive = F
Short Machine Type = DOSV
Signagure Level = 0

3.12J(デフォルト)

```
Link Driver LAISA

PORT 300

FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester

Checksum = 0

First Network Drive = F

Short Machine Type = DOSV

Signature Level = 0
```

2.2 STARTNET.BAT(デフォルト)

STARTNET.BAT は、4.1xJ、3.12J で共通です。

SET NWLANGUAGE=nihongo C:¥NWCLIENT¥LSL.COM C:¥NWCLIENT¥LAISA.COM C:¥NWCLIENT¥IPXODI.COM C:¥NWCLIENT¥VLM.EXE

3 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示されるエラーメッセージを示します。

The adapter did not initialize. LAISA did not load.

イーサネットアダプタの初期化に失敗しました。LAISA.COMはロードされま せんでした。このエラーメッセージは、原因を説明するエラーメッセージとと もに表示されます。

*** CentreCOM LA-ISA Unable to Register with Configuration Manager. *** (1)本アダプタがパソコンに正しく装着されていません。

(2)Plug & Play に対応していないパソコンをご使用の場合で、「PORT」に記述されている数値が、実際に本アダプタに設定されている数値に一致していません。CFGISA の「Lan Adapter の設定変更」-「Auto Scan Start」を使用し、設定値を調べその数値を記述してください。

(3)パソコンの Plug & Play の対応、非対応に関わらず、他の拡張アダプタと 本アダプタの設定重複の可能性があります。ETHDIAG で障害の切り分けを 行ってください。

An invalid keyword was specified in NET.CFG on line #.

NET.CFG に記述したキーワード(予約語)に誤りがあります。本マニュアルを ご覧になり、正しいキーワードを記述してください。

A missing or invalid value was specified in NET.CFG on line #. NET.CFG に記述した数値に誤りがあります。本マニュアルをご覧になり、正しい数値を記述してください。

The following configuration file entry was ignored:

記述行が無視されたことを意味します(このエラーメッセージの後に誤りの記述 行が表示されます)。このメッセージは、原因を説明するメッセージとともに表 示されます。

< 例 >

PQRT 300 PORT 30

The LSL is not loaded.

LSLを常駐させずにLAISA.COMを常駐させようとしました。まず、LSLを常 駐させてください。

4 NetWare クライアントと PC/TCP の共存環境

NetWare と弊社 CentreNET PC/TCP の共存環境を構築する最も簡単な方法は、

- まず、NetWareのクライアントのインストールを行い(作業の中でODIクライ アントドライバーのインストールを行います)、
- (2) 引き続き、PC/TCP のインストールを行うことです。

(1)、(2)ともそれぞれに付属しているインストーラ(インストールプログラム)によってインストールすることができ、メニューを選択するだけで、自動的に全ての設定が行われます。

何らかの理由によって、PC/TCPのインストールを行った後、NetWareのインストールを行わなければならない場合、AUTOEXEC.BAT、NET.CFG ファイルの編集を 行ってください(CentreNET PC/TCP マニュアルの「インストール結果」の項もご 覧ください)。

4.1 AUTOEXEC.BAT の記述

下記のように、STARTNET 記述行の後に、PATH、環境変数 PCTCP、ODIPKT、 ETHDRV を記述してください。CONFIG.SYS の編集は不要です。

```
@CALL C:¥NWCLIENT¥STARTNET
.....
PATH=C:¥PCTCP;%PATH%
SET PCTCP=C:¥PCTCP¥PCTCP.INI
ODIPKT
ETHDRV
.....
```

4.2 NET.CFG の記述

NET.CFG ファイルは、本アダプターが使用するフレーム、プロトコルなどを設定す るファイルです。次に、NetWare と PC/TCP(TCP/IP)を共存させるための記述例を 示します(ドライバーディスクに NET.CFG のひな形があります。コピーしてご使用 ください)。太文字の記述行が PC/TCP に関連する行です。NET.CFG の記述に関す る詳細は、NetWare のマニュアルをご覧ください。
```
Link Support
        max stacks 8
Protocol IP
        Bind LAISA
Protocol ARP
        Bind LAISA
Link Driver LAISA
        Port 300<sup>†1</sup>
#
        Frame ETHERNET_802.3
        Frame ETHERNET_802.2
        Frame ETHERNET II
        Protocol IPX 0000 ETHERNET_802.3
#
        Protocol IPX 00e0 ETHERNET_802.2
#
        Protocol IPX 8137 ETHERNET II
        Protocol IP 0800 ETHERNET_II
        Protocol ARP 0806 ETHERNET II
NetWare DOS Requester
   . . . . . . .
   (デフォルトの NET.CFG の記述をご覧ください)
   . . . . . . .
```

以下に従い、お客様の環境で使用しないフレーム、プロトコルはシャープ「#」または、セミコロン「;」によってコメントアウトしてください。

- 「Frame ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J 以前のものにおいてデフォ ルトで使用されるフレームです。
- (2) 「Frame ETHERNET_802.2」は、NetWare 4.1J/3.12J においてデフォルト で使用されるフレームです。
- (3) 「Frame ETHERNET_II」は、弊社 CentreNET PC/TCP などの TCP/IP 通信ソ フトウエアで使用されるフレームです。

+1 LA-ISA V2 が Plug & Play モードで動作しているとき、「Port」の記述は無視されます。

NetWare DOS client



LAN Manager DOS Client

第9部では、本製品の DOS NDIS ドライバーを MS-DOS にインス トールする方法について説明します。

1 LAN Manager DOS クライアント

準備

DOS NDIS ドライバー(以下、NDIS ドライバー)のインストールを実行する前に、ご使用になるパソコンや本製品に対して、あらかじめ以下のことを施しておいてください。

- [1] Plug & Play 対応パソコンの場合、パソコンが Plug & Play をサポートするように設定されていること。詳細は、第3部「3 MS-DOS・Windows 3.1 における Plug & Play」をご覧ください。
- [2] Plug & Play **に対応していないパソコン**の場合、「CFGISA.EXE」によってモード、I/Oアドレス、インタラプトが設定されていること。詳細は、第3部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

インストール

Windows NT 4.0 Server で提供されている LAN Manager DOS クライアントにおける手順の概要を示します。

- Windows NT ServerのCD-ROMから、LAN Managerのインストールフロッ ピーディスク(3枚)を作成します。詳細はCD-ROMの¥Client¥Lanmanにあ る README ファイルをご覧ください。
- (2)「DOS Setup」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、以下のコマンドを実行します。

A:¥>setup

- (3) インストーラが起動します。画面の指示にしたがって、インストールを進めます。途中、「LAN Managerのインストール」画面でインストール元ドライブの入力を促されます。デフォルトの「A:¥」のままでリターンキーを押し、次に進みます。
- (4) ファイルのコピーが行われます。「DOS WORKSTATION」および「DOS Drivers」の2枚のディスクを要求されますので、順にディスクを挿入してファイルのコピーを進めます。
- (5) ファイルのコピーが終了すると「ネットワークアダプタドライバ」画面が表示 されますので、<その他のドライバ>を選択してください。「ドライバまたは プロトコルファイルのコピー」画面が表示されたら、本製品のドライバーディ スクを挿入して「了解」を選択します。

- (6) 「Allied Telesis LA-ISA/ISA_V2 LAN Adapter」が表示されますので、「了解」を 選択します。以後、画面の指示にしたがってプロトコル、アドレス等の設定を行 います。これらの項目についての詳細はネットワーク管理者にお尋ねください。
- (4) インストーラの終了後、必要であれば、CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT、 PROTOCOL.INI ファイルを編集してください。

2 **インストール結果**

インストールが終了すると、LAN Manager DOS クライアントの動作に必要なファ イルやドライバ「LAISA.DOS」がコピーされ、ネットワークやLAN アダプターに関 する設定を記述したファイル PROTOCOL.INI が作成されます。また、AUTOEXEC. BAT、CONFIG.SYS にいくつかの記述が追加されます。

2.1 PROTOCOL.INI

PROTOCOL.INI は本アダプターの I/O アドレス、使用するプロトコルなどを記述して おく設定ファイルです。LAN マネージャの各ドライバーは、この設定ファイルに従っ てシステムを初期化します。LAN マネージャのインストールプログラムを使用して、 LAISA.DOS をインストールしたときに生成される PROTOCOL.INI の例を示します。

[ATIMAC_NIF]セクションの記述

[ATIMAC_NIF]は、LA-ISA V2 に関する項目を記述するセクションで、ドライ バー名と I/O アドレスを記述します。

ドライバー名

ネットワークデバイスドライバー名です。必ず下記を記述しなければなりません。

DRIVERNAME = ATIMAC\$

1/0 アドレス

ご使用のパソコンが Plug & Play に対応していないパソコンの場合、 "IOADDRESS = 0x"に続けて、CFGISA で設定した I/O アドレスの数値を書 いて下さい(インストーラによってデフォルト値が記述されます。CFGISA の 「Lan Adapterの設定変更」を実行した場合は、その数値を記述してください)。 本アダプターの I/O アドレスは、16 進数で表されているため、数値の先頭に "0x"を置かなければなりません。

IOADDRESS = 0x300

Plug & Play 対応パソコンの場合、この記述は無視されます(削除してもかまいません)。

9

^{† 1} IRQ、全2重/半2重に関するオプションはPROTOCOL.INIに記述することはできません。こら らは、あらかじめ CFGISA で設定しておいてください。

```
[PROTMAN]
 DRIVERNAME = PROTMAN$
 DYNAMIC = YES
 PRIORITY = NETBEUI
[NETBEUI_XIF]
 Drivername = netbeui$
 SESSIONS = 6
 NCBS = 12
 STACKSIZE = 4096
 BINDINGS = "ATIMAC_NIF"
 LANABASE = 0
[ATIMAC_NIF]
; The section for the ATKK CentreCOM LA-ISA/LA-ISA V2 LAN Adapter.
; DRIVERNAME
               Always must use ATIMAC$.
; IOADDRESS
            Must specify the base I/O address of the adapter as
;
              configured with the CFGISA.EXE program.
              0x200, 0x220, 0x240, 0x260, 0x280, 0x2A0, 0x2C0, 0x2E0
;
              0x300, 0x320, 0x340, 0x360, 0x380, 0x3A0, 0x3C0, 0x3E0
 DRIVERNAME = ATIMAC$
 IOADDRESS = 0x300
```

2.2 CONFIG.SYS

DEVICE=C:¥LANMAN.DOS¥DRIVERS¥PROTMAN¥PROTMAN.DOS /i:C:¥LANMAN.DOS DEVICE=C:¥LANMAN.DOS¥DRIVERS¥ETHERNET¥ATIMAC¥LAISA.DOS

2.3 AUTOEXEC.BAT

```
@REM ==== LANMAN 2.1 === DO NOT MODIFY BETWEEN THESE LINES ===
LANMAN 2.1 ====
SET PATH=C:¥LANMAN.DOS¥NETPROG;%PATH%
NET START WORKSTATION
LOAD NETBEUI
NET LOGON sasaki *
@REM ==== LANMAN 2.1 === DO NOT MODIFY BETWEEN THESE LINES ===
LANMAN 2.1 ====
```

LAN Manager DOS client

9

3 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示されるエラーメッセージを示します。

Initialization failure

イーサネットアダプタの初期化に失敗しました。このエラーメッセージは、原 因を説明するエラーメッセージとともに表示されます。

Syntax error in PROTOCOL.INI - Invalid Parameter Value

PROTOCOL.INI に記述した数値に誤りがあります。本マニュアルをご覧になり、正しい数値を記述してください。

Syntax error in PROTOCOL.INI - Unrecognized Keyword PROTOCOL.INIに記述したキーワード(予約語)に誤りがあります。本マニュア ルをご覧になり、正しいキーワードを記述してください。

Network Interface Hardware Not Found or Not Responding イーサネットアダプタが見つかりません。すなわちイーサネットアダプタから の応答がありません。

(1)本アダプタがパソコンに正しく装着されていません。

(2)Plug & Playに対応していないパソコンをご使用の場合で、PROTOCOL.INI に記述されている I/O アドレスの値(IOADDRESS = 0x....)と本アダプタに設 定されているI/Oアドレスの値が一致していません。CFGISAの「Lan Adapter の設定変更」-「Auto Scan Start」で現在設定されているI/Oアドレスを調べ、 その数値を PROTOCOL.INI に記述してください。

(3)パソコンの Plug & Play の対応、非対応に関わらず、他の拡張アダプタと 本アダプタの設定重複の可能性があります。ETHDIAG で障害の切り分けを 行ってください。

4 LAN Manager と PC/TCP の共存環境

LAN Manager と弊社 CentreNET PC/TCP(以下「PC/TCP」と略記)の共存環境 を構築する最も簡単な方法は、

- (1) まず、LAN Manager のインストールを行い、
- (2) 引き続き、PC/TCP のインストールを行うことです。

(1)、(2) ともインストール作業は、製品に付属しているインストーラ (インストール プログラム) によって簡単に実行できます。また、メニューが用意されており、適切

な項目を選択するだけで自動的にすべての設定が行われます。

何らかの理由によって、PC/TCP のインストールを行った後、LAN Manager のインストールを行わなければならない場合、CONFIG.SYS、PROTOCOL.INI ファイルの編集を行ってください (CentreNET PC/TCP マニュアルの「インストール結果」もご覧ください)。

4.1 CONFIG.SYS

下記のように、NDISドライバー記述行の後にDIS_PKT.GUPの記述を追加してください。

.....DEVICE=A:\LANMAN.DOS\DRIVERS\ETHERNET\ATIMAC\LAISA.DOS DEVICE=A:\PCTCP\DIS_PKT.GUP

4.2 AUTOEXEC.BAT

AUTOEXEC.BAT の最後に ETHDRV を追加してください。

```
LOAD NETBEUI
REM == LANMAN 2.1 ==DO NOT MODIFY BETWEEN THESE LINES==LANMAN
2.1==
ETHDRV
```

4.3 PROTOCOL.INI

PROTOCOL.INI の最後に下記のセクション [PKTDRV] を追加してください。

```
[PKTDRV]
DRIVERNAME = PKTDRV
BINDINGS = ATIMAC_NIF
INTVEC = 0x6E
```

LAN Manager DOS client



パケットドライバー

第10部では、本製品のパケットドライバー「LAISAPD.COM」のインストールについて説明します。パケットドライバーは、主にTCP/IP通信ソフトウェア、例えば弊社製「CentreNET PC/TCP」などで使用されるドライバーです。

1 パケットドライバー

準備

パケットドライバーのインストールを実行する前に、ご使用になるパソコンや本製品 に対して、あらかじめ以下のことを施しておいてください。

- [1] Plug & Play **対応パソコン**の場合、パソコンが Plug & Play をサポートするように設定されていること。詳細は、第3部「3 MS-DOS・Windows 3.1 における Plug & Play」をご覧ください。
- [2] Plug & Play に対応していないパソコンの場合、「CFGISA.EXE」によってモード、I/Oアドレス、インタラプトが設定されていること。詳細は、第3部「2アダプターの設定・CFGISA.EXE」をご覧ください。

1.1 CentreNET PC/TCP

CentreCOM LA-ISA のパケットドライバー「LAISAPD.COM」のインストールは、 CentreNET PC/TCP のインストーラ (インストールプログラム) の中で行われます。

- (1) パソコンのマニュアルにしたがい、本製品をパソコンに取り付けてください。
- (2) PC/TCP のインストーラを実行してください。作業の中で、本製品のドライ バーディスクをフロッピーディスクに入れるように指示されます。

(3)ドライバーの選択画面で、「パケットドライバー」を選択してください。

1.2 その他の TCP 通信ソフトウェアをご利用の場合

パケットドライバーを要求する他社のネットワークソフトウェアと本製品を組み合せ て使用する場合、ソフトウェアに関するインストール手順は、ネットワークソフト ウェアに添付されているマニュアルに従ってください。

しかしながら、ほとんどのネットワークソフトウェアのインストールにおいて、基本 的なことは下記の点です。

- ネットワークソフトウェア自身のインストール:
 ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従ってインストールします。
- (2) 本製品用パケットドライバーのインストール:

ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って、本製品用パケットド ライバーを所定の箇所にコピーします。

- (3) AUTOEXEC.BAT の編集: ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って編集します。
- (4) CONFIG.SYS の編集: ネットワークソフトウェアに付属のマニュアルに従って編集します。

2 パケットドライバーの設定変更

Plug & Play対応パソコンでは、パケットドライバーの設定変更の必要はありません。 本製品が使用するI/Oアドレス、インタラプトの値はパソコンによって自動的に設定 されます。パケットドライバーは、パソコンから渡される設定値を使用するため、パ ケットドライバーに書き込まれている設定値は無視されます。

Plug & Play **に対応していないパソコン**では、他の拡張アダプターとの設定重複回避 などのために、本製品の I/O アドレスを工場出荷時設定以外に変更した場合は、<u>パ</u> ケットドライバーに書き込まれたI/Oアドレスを本製品の設定値に一致させなければ なりません。

パケットドライバーのI/Oアドレス変更は、CFGISAの「ドライバーソフトの設定変 更」メニューを使用して行います。

(1) 下記のコマンドを入力してください。

CFGISA

- (2) メニューから「ドライバーソフトの設定変更」を選択してください。
- (3) ファイル名として、「LAISAPD.COM」をフルパスで入力してください(ドライ バーディスクを指定する場合は「A:¥PD¥LAISAPD.COM」となります)。
- (4) CFGISA で本製品に設定した I/O アドレスを選択してください。

Packet Driver

3 エラーメッセージ

ドライバーが常駐するときに表示されるエラーメッセージを示します。

Error: I/O base address error.

Please check I/O Base address.

(1)本アダプタがパソコンに正しく装着されていません。

(2)Plug & Playに対応していないパソコンをご使用の場合で、LAISAPD.COM に設定されているI/Oアドレスの値が、実際に本アダプタに設定されている数 値に一致していません。CFGISAの「Lan Adapterの設定変更」-「Auto Scan Start」を使用して設定値を調べ、その数値をCFGISAの「ドライバソフトの 設定変更」で設定してください。

(3)パソコンの Plug & Play の対応、非対応に関わらず、他の拡張アダプタと 本アダプタの設定重複の可能性があります。ETHDIAG で障害の切り分けを 行ってください。

Warning: Driver is already loaded.

ドライバがすでに常駐しています。



トラブルシューティング

第11部では、各ドライバーを使用するときに発生する一般的なトラ ブルの解決のし方や、ハードウェア診断プログラムの使い方について 説明します。



1 ハードウェア診断プログラム

ETHDIAG.EXEは、ハードウェアのテストを行い、エラーを検出するとメッセージを 表示して終了します。本製品が正常に動作することを確認したり、本製品の使用中に 異常が生じたとき、何が原因なのかを調べることができます。ETHDIAG.EXE は、 「MS-DOS」または「Windows95 の DOS プロンプトのみのモード」で実行すること ができます。

1.1 ハードウェア診断の手順

- (1) 本製品をパソコンに組込み、ネットワークに接続してください(ネットワークに 接続されていない場合、ハードウェア診断プログラムはエラーを返します)。
- (2) パソコンの電源をオンにしてください。

Windows95 **をご使用の場合**は、画面に「Starting windows95…」または「Windows95 **を起動しています**…」というメッセージが表示されたら、キーボードの「F8」キーを押してください。

メニューから「Command prompt only」または「コマンドプロンプトのみ」 を選択してください。(3) に進んでください。

MS-DOS をご使用の場合、(3) に進んでください。ただし、パケットドライ バー、DOS ODIまたは DOS NDIS ドライバーが常駐している場合は、解放 (常駐解除)してください。これらが常駐しているときにETHDIAGを実行す ると、エラーメッセージが表示されます。

 (3) 本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、下記のコマンド を実行します。本製品を「Plug & Play」モードに設定している場合、コマンド オプションは不要です。ここでは、フロッピードライブを A:と仮定します。

C:¥>A:	
A:¥>ETHDIAG	

本製品を「Legacy」モードに設定している場合、すなわち引き数として本製品 に設定されている「I/O **アドレスの先頭値**」を指定しなければなりません。引き 数を指定しなかった場合、本製品の工場出荷時設定値「300」が採用されます。

A:¥>ETHDIAG -B:240

また、下記のコマンド行を入力すると、ヘルプを表示します。

```
A:¥>ETHDIAG -h
```

1.2 正常に試験が終了した例

以下に正常な試験結果の例を示します。

```
CentreCOM LA-ISA/LA-ISA V2 Diagnostic Version 1.1 pl 0 [AT/IBM-PC]
Copyright (c) 1995-97 by Allied Telesis, K.K. All rights reserved.
Int Level: 10
IO Base: 240
IO Check: OK
Ether Address: 00 00 f4 4a 27 f3
Board Type: LA-ISA-T V2 (10227)
Buffer RAM Check: OK
Interrupt Check: OK
Loopback Check 1: OK
Loopback Check 2: OK
Loopback Check 3: OK
```

1.3 正常に試験が終了しなかった例

障害が発生した時点で試験を中断し、結果を表示します。下記は、LA-ISA-T V2 に UTP ケーブルが接続されていなかった例です。

CentreCOM LA-ISA/LA-ISA V2 Diagnostic Version 1.1 pl 0 [AT/IBM-PC] Copyright (c) 1995-97 by Allied Telesis, K.K. All rights reserved. Int Level: 10 IO Base: 240 IO Check: OK Ether Address: 00 00 f4 4a 27 f3 Board Type: LA-ISA-T V2 (10227) Buffer RAM Check: OK Interrupt Check: OK Loopback Check 1: OK Loopback Check 2: OK Loopback Check 3: CRC NG

1.4 ETHDIAG のエラーメッセージと対策

Adapter is not found

- (1) 本製品がパソコンに正しく装着されていません。本製品の設置を再確認の上、 パソコンを再起動してください。
- (2) Plug & Play 対応パソコンをご使用の場合は、Plug & Play に対応していない 他の拡張アダプターとの設定重複の可能性が考えられます。「Plug & Play に 対応していない他の拡張アダプター」を順番にパソコンから取り外し、 ETHDIAGを実行することにより、どの拡張アダプターが障害の原因となって いるのか切り分けることができます。ICU⁺¹を使用し、Plug & Play に対応し ていない他の拡張アダプターの設定をパソコンに登録してください。
- (3) Plug & Play **に対応していないパソコン**に、Plug & Play モード(工場出荷時設定)に設定された本製品を取り付けています。第11部「2 一般的なトラブル」の「CFGISA で本製品が検出できない」をご覧ください。

Interrupt Check: Tx error interrupt

- (1) 本製品がネットワークに接続されていません。
- (2) ネットワークに接続するためのケーブルが切断しています。
- (3) 特に、10BASE-Tにおいてネットワークに接続するためのケーブルが適切なものではありません。
- (4) 本製品を接続したトランシーバーがネットワークに正しく接続されていません (10BASE5、10BASE2)。
- (5) ハードウェアリソースが重複している可能性があります。

11

^{† 1} ICU(ISA Configuration Utility)は、MS-DOSでPlug & Play機能を使用するためのプログラムで、パ ソコンに付属しています。このソフトウエアに関する情報は、例えばDELL製OptiPlex XMT 5133 という機種では、「ISA コンフィグレーションユーティリティ(ISA)ユーザーズガイド」という冊 子で説明されています。

Buffer RAM Check: NG

- 送受信 RAM Read/Write チェックでエラーが発生しました。パソコンを再起 動してください。
- (2) 他の拡張アダプターと本製品の設定が重複している可能性があります。他の拡張アダプターをすべてパソコンから取り外し、ETHDIAGを実行してみてください。

Loopback Check #: Tx timeout Loopback Check #: Return Packet Timeout

データの送信時 / 受信時にタイムアウトが発生しました。本製品の設置確認、ケーブ ルなどハードウェアの確認を行ってください。「#」の部分には、「1」、「2」、「3」が 入ります。

Loopback Check #: Rx Framing error Loopback Check #: Rx CRC error

ネットワーク幹線に問題がある可能性があります。パソコンからハブまでのハード ウェアをチェックして、問題がなければさらに幹線のチェックを行ってください。 「#」の部分には、「1」、「2」、「3」が入ります。

Loopback Check #: Tx Colision error Loopback Check #: Tx Carrier loss error

本製品とネットワークケーブルが物理的に接続されていません。または、ケーブルが 断線している可能性があります。ケーブルのチェックを行ってください。「#」の部 分には、「1」、「2」、「3」が入ります。

2 一般的なトラブル

MS-DOS で本製品が動作しない(EMM386.EXE)

Version 4.49 以上の EMM386.EXE をご使用ください。これより低いバージョンの EMM386.EXEでは、本製品が正常に動作しないことがあります。これは、Plug & Play BIOS の一部の機能が、EMM386.EXE などの EMS メモリ・マネージャに依存してい るためです(これは Plug & Play 対応の拡張アダプター全般に関係した障害です)。

以下の手順で EMM386.EXE のバージョンの確認を行ってください。

CONFIG.SYS に記述された EMM386.EXE の引き数として「VERBOSE」を付けてください。

```
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE ..... VERBOSE
```

DOS 画面から「EMM386」と入力することによるバージョン表示では、正確 なバージョンが確認できません。必ず、CONFIG.SYSの内容がロードされると きのバージョンを確認してください。

- (2) パソコンを再起動します。CONFIG.SYYの内容がロードされるとき、画面上に EMM386.SYSのバージョンが表示されます。画面表示はスクロールしますの で、見逃さないようにご注意ください。
- (3) EMM386が4.49以下のバージョンであった場合、最新のバージョンのものを 入手して(ご使用のパソコンのメーカーに問い合わせてください)、古いバー ジョンのものと入れ替えてください。

CFGISA で本製品が検出できない

症状1:CFGISA を実行すると、「現在のI/O Base Address を選択してください」メ ニューが表示され、「Auto Scan Start」の実行や「適切なアドレス」の選択を行っ ても「その値は Adapter にありません」と表示されてしまう。

症状 2: ETHDIAG を実行すると「adapter is not found」と表示されてしまう。

原因:パソコンが Plug & Play に対応していないことが主な原因です。Plug & Play モード(工場出荷時設定)の状態で、本製品を Plug & Play に対応していないパソコ ンに取り付けると、パソコンに Plug & Play BIOS が搭載されていないために、

CFGISA や ETHDIAG が本製品を検出できません。

対策:以下の手順を実行してください。

「MS-DOS」または「Windows95のDOSプロンプトのみのモード」^{†1}を起動 し、ドライバーディスクをフロッピードライブに入れて、下記のコマンドを入 力してください。「-B:」の後には現時点でパソコンによって使用されていない I/Oアドレス(例えば、「300」や「240」など)を指定してください。このコマ ンドによって、一時的に本製品を検出できるようになります。

```
C:¥>A:
A:¥>LAISAACT -B:300<sup>†2</sup>
```



続いて、CFGISA を起動してください。「現在の I/O Base Address を選択して ください」メニューが表示された場合は、「Auto Scan Start」または 「LAISAACTの-B:で指定したアドレス」を選択し、さらに本製品をPlug & Play モードから Legacy モードに変更します。必要であれば、I/O アドレスや IRQ も変更してください。

A: ¥>CFGISA

パソコンのリセットスイッチを押すか、パソコンの電源をオフにし再びオンに してください(Ctrl + Alt + Del でリセットしないでください)。パソコンが起 動したら、ETHDIAGで本製品が正しく動作することを確認してください⁺²。こ の時点では、本製品は Legacy モードに設定されているので、I/O アドレスを 「300-31F」以外に変更した場合は、「-B:」オプションを付けI/Oアドレスを指定 してください。

A:¥>ETHDIAG -B:240

- +1 Windows95の中から起動された「MS-DOS プロンプト」では実行できません。
- † 2 LAISAACT は、Plug & Play に対応していないパソコンで CFGISA を正しく実行できるようにす るためのプログラムです。LAISAACT を実行後、LA-ISA V2 は通常の動作状態ではないため、 LAISAACT を実行し、その直後に ETHDIAG で試験することは意味を持ちません。



付 録

1 **ドライバーインストーラ** (SETUP.EXE)

本製品には、DOSドライバーをMS-DOSにインストールするためのユーティリティ が付属しています。このユーティリティは、メニューによって操作することができ、 インストール先、DOSドライバーのタイプを選択することができます。

このユーティリティは、ドライバーのコピーとともに、NET.CFG、PROTOCOL.INI、 AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYSのひな型も作成します。このユーティリティは、イ ンストール先のディレクトリにファイルをコピーするだけで、既存の動作環境に全く 変更を加えません。

2 MAC アドレス^{†1}

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれる「機器 (アダプター)の ひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレス」を使っ て通信をしています。

MACアドレスは、下記の 6 バイト (48ビット)によって構成されており、アダプター 内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本アダプター の MAC アドレスは、アダプターに貼付されたラベルに記入されています (表記は全 て 16 進数)。

ベンダー ID

LAN ベンダー (LAN 用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請すること により得られる ID 番号です。

通し番号

当社が製品の一つ一つに割り当てた通し番号で、「LA-ISA-T V2」では「4A」 または「4B」、「LA-ISA-25T V2」では「4C」から始まる6桁の数値です。こ の番号は、バーコードラベルのシリアル番号とは全く別のものです。

付録

^{†1} MAC アドレスは、イーサネットアドレス、ネットワークアドレス、物理アドレス、ノードアド レスと呼ばれることもあります。

3 1/0 アドレス

Plug & Play モードのときは、(2)~(16) の 14 通りの I/O アドレスの中からパソコ ンによって自動的に選択されます。Legacy モードのときは、(1)~(16) の 16 通りか ら選択できます。下線の値は、Legacy モードにおけるで工場出荷時設定です。

(1)200 - 21f	(2)220 - 23f	(3)240 - 25f	(4)260 - 27f
(5)280 - 29f	(6)2a0 - 2bf	(7)2c0 - 2df	(8)2e0 - 2ff
<u>(9)300 - 31f</u>	(10)320 - 33f	(11)340 -35f	(12)360 - 37f
(13)380 - 39f	(14)3a0 - 3bf	(15)3c0 - 3df	(16)3e0 - 3ff

4 IRQ

IRQ(インタラプト)は、以下の8通りから選択できます。Plug and Play モードで動 作させるときは、この中からパソコンによって自動的に選択されます。下線の値は、 Legacy モードにおける工場出荷時設定です。

(1)IRQ 2/9	(2)IRQ 3	(3)IRQ 4	(4)IRQ 5
(5)IRQ 10(A)	(6)IRQ 11(B)	(7)IRQ 12(C)	(8)IRQ 15(F)

5 RJ-45 **モジュラージャック(**10BASE-T)

(1) TX+	送信データ(+)
(2) TX-	送信データ(-)
(3) RX+	受信データ(+)
(4)	未使用
(5)	未使用
(6) RX-	受信データ(-)
(7)	未使用
(8)	未使用



図 A.5.1 10BASE-T コネクター (本アダプターのコネクターに向って見た図) 白鍮

AUI コネクター(10BASE5) 6

イーサネットトランシーバー (AUI) 用コネクターの接続リストを示します。コネク ターは、15 ピン D サブタイプを使用しており、イーサネットトランシーバーケー ブルの仕様に適合しています。



図 A.6.1 AUI コネクター (本アダプターのコネクターに向って見た図)

(1) CI Shield シールド (2) Cl+ 衝突検出 (+) 送信 データ(+) (3) DO+ (4) DI Shield シールド 受信データ(+) (5) DI+

(6) PWR RTN

(7) Not Used

(8) Shield

(11) DO Shield シールド (12) DI-(13) PWR+ 電源リターン (14) PWR Shield シールド 未使用

(9) Cl-

(10) DO-

(15) Not Used 未使用

衝突検出(-)

送信データ(-)

受信データ(-)

電源供給線(+12V)

Shell (Protective GND)

シールド

A

7 製品仕様

(1) ハードウェア仕様信号:IEEE802.3

(2) 機械的仕様

130g(LA-ISA-25T V2)

(3) 電気的仕様

動作電圧:	DC +5V ± 5%
	DC +12V ± 5%(LA-ISA-25T V2のみ)
消費電流:	+5V 100mA(max)(LA-ISA-T V2 のみ)
	+5V 460mA(max)(LA-ISA-25T V2 のみ)
	+12V 500mA(max) [†] (LA-ISA-25T V2のみ)

(4) 環境条件

温度:	0 ~ 55	
湿度:	最大 95%(ただし、	結露なきこと)

(5) 電気雑音の発生防止

VCCI Class B

(6)使用するハードウエア資源

I/O :	連続した 32 バイト(A.3 参照)
IRQ:	1 つ(A.4 参照)

付録

A



保証・ユーザーサポート

1 **保証**

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客 さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入し、当社「お客さまインフォ メーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」 が返送されていない場合、修理や障害発生時のユーザーサポートなどを受けられませ ん。

2 ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリント アウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話 による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付して いただく方が、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができま す。記入事項の詳細は、「3調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。また、 問題解決のためにより詳細な情報が必要になった場合に、こちらからお尋ねすること もございますので予めご了承ください。

アライドテレシス(株)サポートセンター

Fax:	00	0120-860-662	年中無休 24 時間受付
Tel:	00	0120-860-772	月~金(祝・祭日を除く)
			10:00-12:00、13:00-17:00

3 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を究明するためにご記入いた だくものです。ご提供いただく情報が不十分な場合には、障害の原因を突き止めるこ とに時間がかかり、最悪の場合には障害の解消ができないこともございます。

迅速に障害の解消を行うためにも、また当社の担当者が障害の発生した環境を理解で きるよう、以下の点に従ってご記入ください。

記入用紙に書き切れない場合には、別紙としてプリントアウトなどを添付してください。 なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

ハードウェアとソフトウェア

 ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン 本製品裏面に貼られたラベルに記入されているシリアル番号(S/N)、製品リビ ジョンコード(Rev.)を調査依頼書に記入して下さい。

(例) S/N 00077000002346 Rev AA

- ご使用の当社のソフトウェア
 当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類 / バージョン(Ver.)/シリアル(S/N)を記入してください。それらは、フロッピー ディスクのラベル上に記入されています。
- 3. **ご使用のコンピュータの機種** ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名
- 4. **ご使用の周辺機器(**CD-ROM **ドライブ、サウンドボード、**SCSI **ボードなど)** 他社製の拡張アダプターやメモリマネージャなどのユーティリティをご使用の 場合はそれら全てについてご記入下さい。
- 5. **接続しているサーバー、**UNIX **システムの機種、**OS **など** 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入下さい。 (例えば、NetWare 4.11J、Sun Soralis など)

お問い合わせ内容

- * どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをでき る限り具体的に(再現できるように)記入して下さい。
- * 障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティや、ア プリケーションの処理内容もご記入下さい。
- * MS-DOS における AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、バッチファイルに関し ては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付して下さい。
- * エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- * Windows95、Windows NTの場合、可能な限り、お手数ですがシステムレポート(OSが自動生成するシステムに関するレポート、名称はOSによって異なります)を出力し、添付いただきますようお願いいたします。

保証・ユーザーサポート

システムレポートの出力方法

1. Windows95 の場合

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷(N)…」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選 択して下さい。以後、画面の指示にしたがってください。

2. Windows NT Ver.3.5/3.51 の場合

- (1) 「プログラムマネージャ」 「管理ツール」と進み、「Windows NT 診断 プログラム」アイコンをダブルクリックして起動します。
- (2) 「ファイル(F)」メニューの「レポートの印刷(P)…」コマンドを選択します。
- (3) 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする(R)」 を選択して下さい。以後、画面の指示にしたがってください。
- 3. Windows NT Ver.4.0 の場合
- (1) 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール(共通)」 「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動しま す。
- (2) 「印刷(N)…」ボタンををクリックします。
- (3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択して下さい。 以後、画面の指示にしたがってください。

接続の構成図

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を 添付して下さい。

4 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッ チレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つ の方で入手することができます。

ホームページからの入手

- Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「http://www.allied-telesis.co.jp」にアクセスします。
- (2) 「DOWNLOAD(ダウンロード)」をクリックしてください。
- (3) 以後、画面の指示にしたがってください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング(TEL. ○○ 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 /月 ~金)までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクを ご提供いたします。

B

調查依頼書(CentreCOM LA-ISA V2 1/2)

						年	月
投事I	頁						
1.	御社名:						
	部署名:						
	ご担当者:						
	ご連絡先住所: 〒						
	TEL: ()		FAX:	()		
2.	購入先:		購入台	≢月日:			
	購入先担当者:		連絡纥	ŧ(TEL):	()	
- 4	ウェアとソフトウェア						
1.	ご使用の製品名、シリアル	昏号、製品リヒ	ビジョン				
	LA-ISA-	V2	S/N			R	ev_
2 -	 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- (
2. 0	A-ISA V2 ドライバー	Ver	nl				
	CentreNET PC/TCP	Ver	pl pl				
	CentreNET AT-TCP/32	Ver	pl pl	_ 0/N _ S/N			
	CentreNET AT-NFS95	Ver.	p" pl.				
	CentreNET AT-NFS/NT	Ver.	/ pl.	S/N			
	その他() Ver.	pl.	 S/N			
	その他() Ver	pl	S/N			
3 -	・ 「使田のコンピュータについて	-					
0. C	メーカ名と機種名・	-					
	ご使用の 0.5 とバージョン・						
	Windows95	ersion 950	Versior	n 950a	Versio	on 950B	
	7	-の他C	Voroioi)	Voron		
	Windows NT V	ersion 3.5	Version	3.51	Versior	1 4.0	
	Ę	の他()			
	サー	・ビスパック()		
					/		

調查依頼書(CentreCOM LA-ISA V2 2/2)

					年	月	日
お問い合わせ内容	別紙あり	別紙な	L				
セットアップ中	に起こっている障害		セットアップ後、	運用中に起こ	っている	障害	
Plug & Play	Legacy(I/O	アドレス_	IRO	ຊ)			

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。



PN J613-M0330-00 Rev.A 971126